



西南学院大学博物館年報 第3号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.3

2010





西南学院大学博物館年報 第3号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.3

2010

 西南学院大学

巻 頭 言

西南学院大学博物館の活動記録として、一昨年から年報を発刊しております。一年間の博物館事業をあらためて振り返り、そして来年度以降の取り組みに反映させることは博物館評価の点からも大事なことです。また、博物館同士の連携を深める意味でも、本誌のような刊行物は相互理解の面からも非常に効果的に感じております。

2010年度の本学博物館活動のなかの展示事業として、春季と秋季に特別展を開催いたしました。春季には一昨年からはじまった九州のキリスト教シリーズの第2弾「南蛮の鼓動—大分に残るキリシタン文化—」をおこない、大分のキリシタンについて取り上げました。秋季特別展では、開館五周年記念特別展として「海を渡ったキリスト教—東西信仰の諸相—」をおこないました。全国各地からキリシタン資料を借用し、海と船を切り口とした展覧会を開催いたしました。なお、秋季特別展は船の科学館・海と船の博物館ネットワークからの支援をうけて実施するという新しい試みでした。

また、2010年度からは特別展の開催以外の期間に企画展を実施しております。『「世界人物絵巻」の世界』展や『シーボルト著日本にみる近世NIPPON』展、『蒙古襲来絵詞と元寇防塁』展をおこないました。特別展開催期間以外へのこれらの取り組みにより、これまでとは違った感想が寄せられるとともに、来館者サービスの向上にもつながりました。

教育事業としては、特別展の講演会をおこなうとともに、昨年同様、本学学生を博物館実習生としてむかえ、2週間にわたり実習をおこないました。その成果を海の中道マリワールドで発表し、単なる実習に終わらせることなく学芸員としての実務に携わらせることができました。また、こどもワークショップを試験的に行ない、今後の展開も期待されます。

成果物や広報活動としまして、2009年度博物館年報、春季・秋季特別展図録の刊行、博物館ニュースを季刊発行しております。特に博物館ニュースは、時期にあった旬な情報を発信する、よい機会となっています。また、これらの発刊物を通じて、新しい情報が寄せられています。

本誌を通じて自己評価するとともに、おおくの関係各位からの忌憚ないご意見を賜れば幸甚に存じます。今後とも、本学博物館運営にご理解とご協力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

2011年8月30日

西南学院大学博物館
館長 高倉 洋彰

目 次

巻頭言	3
2010年度事業報告	
1. 展示活動	
春季特別展「九州のキリスト教シリーズⅡ 南蛮の鼓動 ―大分に残るキリシタン文化―」実施報告 …	5
秋季特別展 開館5周年記念特別展「海を渡ったキリスト教 ―東西信仰の諸相―」実施報告 …	10
企画展 シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON 実施報告	16
企画展 「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」実施報告	17
2. 教育活動	
博物館実習	18
2010年度 せいなんこどもワークショップ概要	26
2010年度 博物館教職員活動記録	28
博物館刊行物・成果物	30
博物館講堂使用状況	34
3. 来館者動向	
来館者統計	35
特別展期間中来館者動向	36
来館団体一覧	41
4. 広報活動	43
2010年度 寄贈図書一覧	44
西南学院大学博物館職員	46

2010年度事業報告

1. 展示活動

春季特別展 「九州のキリスト教シリーズⅡ 南蛮の鼓動 —大分に残るキリシタン文化—」 実施報告



会期：2010年5月27日（木）～7月3日（土）
会場：西南学院大学博物館特別展示室 2階講堂
主催：西南学院大学博物館

第7回 特別展関連公開講演会

期日 2010年6月26日（土）

時間 第1部 14：00～14：30

第2部 14：30～16：00

会場 大学博物館2階講堂

講師 第1部 安高啓明氏（本学博物館学芸員）「大分に残る南蛮文化」

第2部 五野井隆史氏（東京大学名誉教授）「豊後キリシタンの盛衰」

九州のキリスト教シリーズⅡ 「南蛮の鼓動 —大分に残るキリシタン文化—」

開催趣旨と概要

1549（天文20）年、フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸すると、日本にキリスト教がもたらされる。大分には1551（天文20）年に大友義鎮（宗麟）が山口滞在中のザビエルを招聘したことが転機となった。ザビエルは府内に2ヶ月程滞在したが、大友領に布教のあしがかりとなる大きな足跡を残した。

その後、大友宗麟は自らも洗礼を受けて、キリシタン大名として積極的にキリスト教を保護している。これにともない、豊後には多くのキリスト教関連施設が創設され、日本布教の中心地となった。また、南蛮貿易を通じて多くの文物が行き交い、大分に“南蛮文化”が芽生える土壌が形成された。これまで日本にはなかった南蛮文化の創出は、多くの日本人を刺激することになった。

大分では今日でも大友府内町を中心に発掘調査がすすめられ、一定の成果が挙げられている。ここではキリシタン信仰を示すメダイや指輪、中世大友氏の海外交流を示す遺物が数多く発掘されている。本展覧会では、こうした禁教以前に繁栄したキリスト教文化の実像やキリシタン大名である大友宗麟の事跡を紹介するとともに、豊後府内におけるキリシタンの信仰の姿に迫っていく。

展示構成と展示風景

1. 大友宗麟と豊後府内

大友宗麟（義鎮）は豊前・豊後など六ヶ国の守護大名で、キリスト教を熱心に保護した人物として知られている。宗麟自身も1578（天正6年）に臼杵で洗礼を受けており、これ以降「FRCO」の朱印を使うようになる。領主による積極的なキリスト教の受容があって、豊後はキリスト教布教の上で重要拠点とされた。そこで、領内にはノビシャド（修道院、臼杵）、コレジオ（神学校、府内）が建てられるなど、教育機関の整備もすすめられていった。また、天正遣欧使節の派遣に関与し、日本におけるキリスト教の布教は豊後国から支えられたともいえる。府内においてもヨーロッパ式の時刻や曜日、暦の考え方がもちこまれるとともに、キリスト教風の婚礼や葬式がおこなわれることによって、“南蛮”様式の土壌が築かれたのであった。

展示構想と手法

導入部分として大分のキリシタン文化を象徴する西洋近代病院の模型を廊下部分に展示した。この模型は十分に時代考証のなされたものであることはもちろん、十字架も配されているものだったことから来館者に展覧会趣旨をわかりやすく伝えることができたものとする。導入箇所が歴史事象で難解だったため、模型展示は効果的だった。



2. 南蛮文化の精華

1549（天文18）年にフランシスコ・ザビエルが来航すると、日本には多くの外国船が訪れるようになる。また、諸外国に日本が認識されたことによって、新たな海図が作られていった。これにあわせて日本には異国情緒たゞよ文化の動きが生じてくる。ポルトガル人やスペイン人といった、いわゆる「南蛮人」の訪れは、当時の日本人の心を大きく刺激した。ここに文化的昇華が芽生え、異国の意匠をこしらえる「南蛮文化」が誕生する。南蛮船や南蛮人をモチーフとしたこれまでになかった新しい芸術が生まれたのであった。その後も府内に訪れる南蛮船の来航によって、まさしく南蛮文化が花開くことになったのである。

展示構想と手法

ザビエル肖像画を象徴的に展示し、教科書などでも知られるザビエル像を図解パネルで詳しく紹介した。また、視覚的にもわかりやすくするため、府内の古地図を拡大展示するとともに、南蛮屏風をパネルで紹介した。来館者に16世紀の日本のイメージを抱きやすい展示をおこなった。裏面をみせるための演示台をつかうなど、南蛮意匠の細かな部分まで伝えるようにした。



3. 受容と信仰

フランシスコ・ザビエルの招聘、その後ガゴ神父一行が府内を訪れたことによって、大友領には多数のキリシタンが生まれた。領主自らが洗礼を受けたこともありキリスト教が保護され、積極的な布教活動がおこなわれていた。こうしたことを示す多くの遺物が今日では数多く発掘されている。中世大友府内町から発掘されたこれらの遺物にはキリシタンたちが身につけていたものなど多くのゆかりの品々がある。メダイやコンタツなど原城跡発掘遺物とも共通するこれらの資料から、当時の人々がキリシタンとして信仰していた様子を知ることができる。

展示構想と手法

第4章と連動するかたちで設けた章で、近年盛んな分野であるキリシタン遺物のトピックをつくった。小さな発掘遺物が多いことから、出来るだけ見やすいケースを選び展示した。照明の当てかたや演示台を含めて資料が映えるように工夫した。



2010年度春季特別展 南蛮の鼓動—大分に残るキリシタン文化— 出品目録

I. 大友宗麟と豊後府内

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
1	大友宗麟画像(複製)	1	Portrait of OTOMO Francisco Sorin(REPLICA)	安土桃山時代	津久見市
2	大友宗麟官途状	1	Identification of appointment by OTOMO Sorin	安土桃山時代	津久見市
3	短銃(複製)	1	Short gun	安土桃山時代	津久見市
4	大友府蘭(義鎮・宗麟)書状(複製)	1	Letter of OTOMO Francisco Sorin(REPLICA)	安土桃山時代	津久見市
5	天正遣欧使節肖像(複製)	1	Portrait of the delegation of Tensho youngsters	安土桃山時代	津久見市
6	府内古図(画像データ)	1	Old map of Funai	17~19世紀	大分市歴史資料館
7	府内古図(画像データ)	1	Old map of Funai	17~19世紀	大分市歴史資料館
8	府内病院想定復元模型	1	Imaged model of Fnai Hospital		大分県立歴史博物館

II. 南蛮文化の精華

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
参考	南蛮屏風画像	1	Namban Screens	桃山時代/16世紀末~17世紀初	神戸市立博物館
9	聖フランシスコ・ザヴィエル像(複製)	1	Portrait of St.Francisco Xavier(Replica)	江戸時代初期	津久見市
10	オルテリウス「アジア図」	1	Map of Asia by ORTELIUS	1570年	大分市歴史資料館
11	オルテリウス「東インド諸島図」	1	Map of The East Indies of ORTELIUS	1570年	大分市歴史資料館
12	テイセラ「日本図」	1	Map of Japan by L .TEIXEIRA	1595年	津久見市
13	メルカトル「アジア図」	1	Map of Asia by G.MERCATOR	1595年	津久見市
14	鉄地筋金象嵌桃形兜(南蛮兜)	1	Namban-style helmet	桃山時代/16世紀末~17世紀初	大分市歴史資料館
15	象嵌南蛮人文鏡	1	Stirrup with Namban figure design in inlay	安土桃山~江戸時代初期	津久見市
16	南蛮人図鏡	1	Mirror of Namban figure design	桃山~江戸時代初期	大分市歴史資料館
17	織部煙管	5	Long pipe(Oribe ware)	安土桃山~江戸時代初期	津久見市
18	南蛮船文鐔	1	Sword guard with Namban ship design	江戸時代	津久見市
19	南蛮船図鐔	1	Sword guard with Namban ship design	江戸時代中期/17~18世紀	大分市歴史資料館
20	洋風文字龍文鐔	1	Sword guard with Western-style letter and dragon design	江戸時代	津久見市
21	洋風文字龍図鐔	1	Sword guard with Western-style letter and dragon design	江戸時代中期/17~18世紀	大分市歴史資料館
22	十字透かし鐔	1	Sword guard with cross design	江戸時代	津久見市
23	十字と葡萄図鐔(南蛮鐔)	1	Sword guard with cross and grape design	江戸時代中期/17~18世紀	大分市歴史資料館

III. 受容と信仰

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
24	指輪	1	Ring	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター
25	コンタ	2	Contas(Rosary)	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター
26	メダイ	1	medal	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター
27	メダイ状金属製品	5	Medal-shaped metal product	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター

IV. 大友府内の交流

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
28	中国青花皿	2	Excavated remains at Otomo Fnai town(Porcelain, china)	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター
29	中国翡翠釉菊花文小皿	2	Excavated remains at Otomo Fnai town(Ceramics ,china)	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター
30	タイ陶器四耳壺	2	Excavated remains at Otomo Fnai town(Ceramics ,Thailand)	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター
31	タイ練上手クンディー	1	Excavated remains at Otomo Fnai town(Ceramics ,Thailand)	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター
32	タイ鉄絵合子蓋	1	Excavated remains at Otomo Fnai town(Ceramics ,Thailand)	16~17世紀	大分県教育庁埋蔵文化財センター

開館5周年記念特別展 「海を渡ったキリスト教 ―東西信仰の諸相化―」

開催趣旨と概要

日本は鎖国以前、南蛮・中国・朝鮮半島と交易し、貿易による富を得て発展してきた。貿易の一方で、ポルトガル船やスペイン船を通じてもたらされたキリスト教文化は、当時の人たちを刺激することになり、多くの人に受容され定着していった。四面を海に囲まれた日本において、海路は重要なルートであり、物質的・文化的高揚はもちろん、思想、知識など内面的にも飛躍できる“モノ”を運んできたのは船舶だった。

日本では1549年にフランシスコ・ザビエルが来航して以来、布教が始まり、キリスト教は九州をはじめ各地へ広まった。一方フィリピンには、1521年にスペイン国王へ派遣されたマゼランがフィリピン諸島に到着し、ローマ・カトリックのミサがおこなわれた。日本ではキリスト教禁教政策がすすめられるが、フィリピンでは植民地政策のなかで、布教が展開される相反する歴史があった。

このように、海を通じてもたらされたキリスト教が諸国においてどのように受け入れられたのか。本展覧会ではキリスト教を受容した日本とフィリピン、エチオピアなど非西欧圏の信仰の実像に迫る。日本キリスト教史を支えた多くのキリシタンたちの姿と非西欧圏の人々の信仰形態を比較しながら、キリスト教の「受容のかたち」を見出していただければ幸甚である。

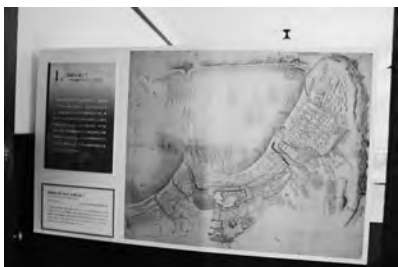
展示構成と展示風景

1. 海路を通じて～外国船がもたらしたもの

四面を海でかこまれた“島国”日本には、海路を通じて多くの文物が行き交いこれが受容されてきた。貿易を通じてもたらされる舶来品や文化、知識はいつしか日本のなかに溶け込み新しい文化を創出するまでになった。これにあわせて、科学的進歩も遂げ、日本地図はもとより地球規模での地理感覚をもつようになった。外国船からもたらされた文化や知識・教養が日本に定着していったのである。

展示構想と手法

導入部分に先かぎって今回の切り口である「南蛮船」の模型を会場入り口に展示した。この船が展示全般の話に関わってくるので象徴な展示資料と位置付けた。また、会場入り口には福岡の古地図を展示し、おおくの関心を集めたが、会場の照度をおさえたため見づらいなどの声が寄せられた。



2. 日本のキリスト教～信仰と弾圧、そして復活へ

(1) 伝来と受容

1549年のフランシスコ・ザビエルが来航して以来、日本には多くのキリシタンが生まれ、南蛮文化ただよう町へと変容した。街中には南蛮寺が建ち、市中には修道士たちが歩き、店にはロザリオが売られる姿があった。日本に新しい息吹が吹き込まれ、新しい文化が芽生えたのであった。

展示構想と手法

南蛮時代を物語る絵画資料のなかから教科書などで取り上げられる頻度の高いものを借用展示した。特に貴重な資料については独立ケースに陳列し、ほかの資料のなかに埋没しないような配慮をおこなった。



(2) 禁教の世

豊臣秀吉は博多滞在中に伴天連追放令を発布する。「日本」が神国であることを明確にしたうえで、キリシタンを追放することが明記された。秀吉のこの方針は徳川幕府に引き継がれ、町にはキリシタン制札が掲げられ禁教が徹底される。さらには絵踏みがおこなわれるとともに、宗門人別改帳が作成されるなど、徹底したキリシタン弾圧が展開された。

展示構想と手法

本展覧会の目玉資料である「キリシタン禁制定書」(長崎県指定文化財)を独立ケースに入れ、映えるように展示した。また、卷子については広げられない箇所をパネルにて表示して全貌を紹介した。さらに高札については当時の高札場の様子を再現し、臨場感を与える展示を試みた。



(3) 苦行と信仰

キリスト教を信仰することが禁じられていたなかでも、信仰を保持し続けたひとたちがいた。彼らのなかには、安政五ヶ国条約以降、解禁の訪れのなかでも、これまで潜伏して信仰してきた形態を維持するものもいた。200年以上という禁教の長い年月は、キリシタンたちに不正確な教義を植えつけることとなり、そのかたちを崩せないまま1873（明治6）年の解禁を迎えるのであった。

展示構想と手法

地域ごとでの信仰の様子がわかるように、長崎・生月・琉球とに区別した展示をおこなった。また、裏面を見せる必要がある資料については鏡付きの演示台を用いることで対応した。外付けの解説パネルを付けることによって、少しでも多くの資料を展示できるように努めた。



3. 非西欧圏のキリスト教

日本が禁教のさなか、アジアを中心とする非西欧圏でもキリスト教は伝えられ布教が続けられていた。日本キリスト教史と共通するところもあれば、これに異なることもあるなど、信仰の姿は各国さまざまであった。特に信仰心に篤かった人物を聖人化する動きは当時の日本にはありえなかったことである。ここでは日本以外の各国の信仰の姿を紹介していく。

展示構想と手法

展示スペースの問題から出口付近から廊下へ流れる順路となったが、連動する展示構成であったことや比較する要素も含んだことから、かえって来館者にわかりやすい展示になったようである。廊下にケースを出したことによって、何気なく立ち寄る来館者も目立ち、関心を引き寄せる効果があった。



4. 現存するキリシタン書物

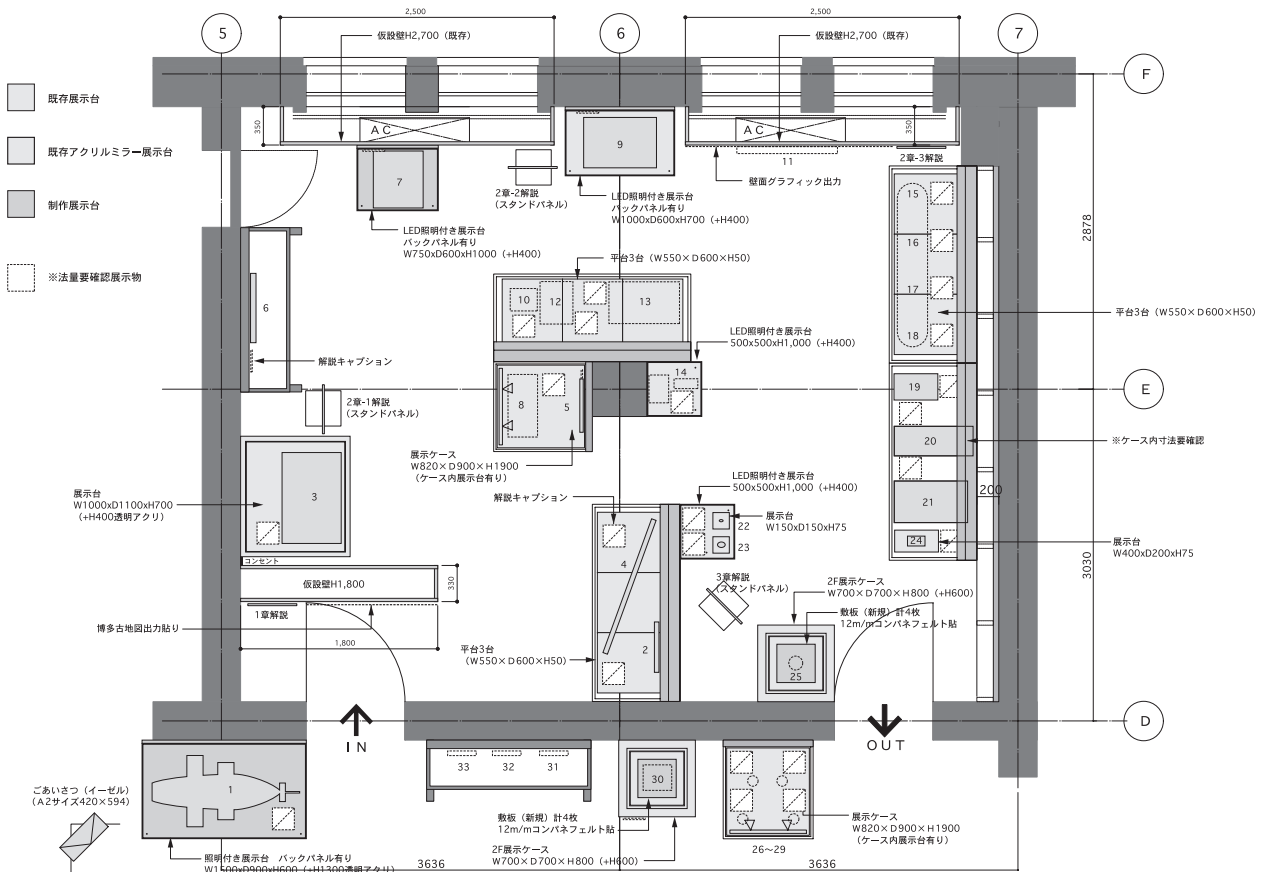
キリシタンたちは多数の教書類を没収され、これらは明治政府が保管するところとなる。1960年代に外務省が大量の公文書類を廃棄しようとしたのを目の当たりにされた外務省百年史編纂委員会委員の稲生典太郎博士がその一部を救出。これら浦上村キリシタン資料は、キリシタン研究に従事する現所蔵者に引き渡された。当時のキリシタンの息遣いが伝わるこれらの貴重な資料群は、今後の文化財保護の機運の高まりを期待して紹介する。

展示構想と手法

文化財保護の意図をもって設けた章であったため、当時廃棄予定でありながら研究者に保護された資料を多数展示した。また必要に応じて壁面に補足説明をおこなうことで来館者の興味関心をひきつけた。この章は教書類が多くを占めたことから壁面の利用も課題として残った。



展示室平面レイアウト



※ 図中番号は出品目録の資料番号に相当する。

2010年度秋季特別展 海を渡ったキリスト教—東西信仰の諸相— 出品目録

I. 海路を通じて～外国船がもたらしたもの

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
1	ポルトガル船模型	1	Model of the Portuguese ship		松浦史料博物館
2	地球全図	1	Complete World map	1792(寛政4)年	京都大学附属図書館
3	日本国全図	1	Complete map of Japan		京都大学附属図書館
4	福岡城下町・博多・近隣古図	1	Old map of castle town in Fukuoka and Hakata	1812(文化9)年	九州大学附属図書館 付設記録資料館
5	望遠鏡 森仁左衛門作製	1	Telescope	1716-1735年	神戸大学海事博物館

II. 日本のキリスト教～信仰と弾圧、そして復活へ

1. 伝来と受容

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
6	聖フランシスコ・ザビエル肖像(複製)	1	Portrait of St. Francisco Xavier (REPLICA)		神戸市立博物館
7	マリア十五玄義図(複製)	1	The 15 Mysteries of the Rosary(REPLICA)		京都大学総合博物館
8	救世主像	1	Statue of the Saviour	1597年	東京大学総合図書館
9	都の南蛮寺図(複製)	1	Picture of Namban temple in Kyoto	桃山時代	神戸市立博物館

2. 禁教の世

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
10	キリシタン禁制定書	1	Document of the law banning Christianity	1587(天正15)年	松浦史料博物館
11	切支丹退治物語	1	History of banning Christianity	1665(寛文5)年	京都大学附属図書館
12	キリシタン制札	1	Proclamation banning Christianity	1711(正徳元)年	西南学院大学博物館
13	シーボルト「NIPPON」	1	Siebold「NIPPON」		西南学院大学図書館
14	絵版之図	1	Image of <i>Fumie</i>	19世紀	松浦史料博物館
15	耶穌宗門改木札	1	Plate with investigation of apostates	1866(慶応2)年	東京大学史料編纂所

3. 苦行と信仰

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
16	マリア観音像	1	Mary <i>Kannon</i>	17～18世紀	西南学院大学博物館
17	教会暦	1	Church's calender	1867年	清水紘一
18	こんびるまさんのさがらめんとのこと	1	Christian doctrine	19世紀	清水紘一
19	日繰	1	Counting the days	1868年	清水紘一
20	十字架片	1	Shard of Cross	19世紀	清水紘一
21	袋	1	Pouch	19世紀	清水紘一
22	お掛け絵「受胎告知」	1	Hanging scroll "The Annunciation"		生月島の館
23	お掛け絵「天使に囲まれた聖母子」	1	Hanging scroll "The Virgin Mary and the Child surrounded by angels"	20世紀	生月島の館
24	お掛け絵「ロザリオの聖母子」	1	Hanging scroll "Rosary of the Virgin Mary"	20世紀	生月島の館
25	ザビエルのメダイ	1	Medallion of Francisco Xavier	16～17世紀	生月島の館
26	聖母子彩色メダイ	1	Coloring medallion of the Virgin Mary and the Child	16～17世紀	生月島の館
27	聖龕(十字架プレート)	1	Christian shrine (with Cross)	16～17世紀	生月島の館

III. 非西欧圏のキリスト教

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
28	景教僧文青磁壺	1	Porcelain of <i>Keikyo</i> priest	13世紀	西南学院大学博物館
29	聖サンフランシスコ・ザビエル像	1	Statue of St. Francisco Xavier	18-19世紀	西南学院大学博物館
30	聖母マリア「無原罪の宿り」	1	The Virgin Mary "The immaculate Conception"	18世紀	西南学院大学博物館
31	聖母マリア	1	The Virgin Mary	19世紀	西南学院大学博物館
32	聖母マリア	1	The Virgin Mary	19世紀	西南学院大学博物館
33	聖イシドロ像	1	Image of St. Isidoro	19世紀	西南学院大学博物館
34	聖バスカリス祈祷画	1	The Prayer image of St. Pascal	1927年	西南学院大学博物館
35	聖ペテロと聖パウロ	1	St. Peter and St. Paul	19世紀	西南学院大学博物館
36	イコン	1	Icon	19-20世紀	西南学院大学博物館

IV. 現存するキリシタン書物

資料番号	資料名	数量	英 訳	時 代	所 蔵
37	けれんどの御おしえのれやく	1	Christian Note		清水紘一
38	御おしえのりやく	1	Christian Note		清水紘一
39	たつときものがたりの事。天地のはじまること	1	Christian Note		清水紘一
40	山川市五郎メモ帳	1	Christian Note	1868(慶応4)年	清水紘一
41	あざのもうしあけ	1	Christian Note		清水紘一
42	御十字架之道行	1	Christian Note		清水紘一
43	がらさの心	1	Christian Note		清水紘一
44	さからめんと事	1	Christian Note		清水紘一
45	日繰	1	Christian Note		清水紘一
46	けれんど	1	Christian Note		清水紘一
47	十かい	1	Christian Note		清水紘一
48	御みさのおらしよ	1	Christian Note		清水紘一
49	御くるすの道行	1	Christian Note		清水紘一
50	八ツのおらしよの事	1	Christian Note		清水紘一
51	聖教日課	1	Christian Note		清水紘一
52	びんせいの事	1	Christian Note		清水紘一
53	こんちりさん之事。こんびさん之事。つもとが之い つみ之事。天にましますの事。さいこのすすめ之事	1	Christian Note		清水紘一
54	拾七ヶ之事	1	Christian Note		清水紘一

企画展

シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON 実施報告

開催概要

ドイツ人医師であるフィリップ＝フランツ＝フォン＝シーボルト（1796-1866）は、長崎出島にあるオランダ商館の商館医員に任命され、1823（文政6）年7月6日に長崎に赴任してきた。長崎滞在中は多くの門人を抱え、出張診察のほか、臨床講義をおこない、長崎郊外に鳴滝塾を開いた。また、シーボルトは医者としての任務のほかに、オランダ政府から日本の総合的科学研究の任務を与えられていた。

シーボルトは自らも研究に打ち込み、1826（文政9）年正月には、新任商館長の江戸参府同伴のために長崎を出発する。このときに同行したのが、挿絵として多くの風景を残した川原慶賀である。川原慶賀は要望に応えるように多くの写実をおこなった。シーボルトは博物学者としても知られているが、そこには“シーボルトの目”として活動していた川原慶賀のはたらきがあったのである。

博物学者シーボルトの日本研究の集大成が「NIPPON」として紹介される。正式邦訳は『ニッポン。日本とその隣国および保護国、南千島をふくむエゾ・カラフト・朝鮮および琉球諸島の記述集』である。日本とその近隣を地理・歴史・宗教・考古学等の分野にわたり紹介したもので、ここには多くの図録も含まれている。

会期：2010年7月15日（木）～10月22日（金）

会場：大学博物館特別展室前廊下～2階講堂

展示構想と手法

特別展を閉鎖して1階廊下から2階講堂までに12枚のパネルをつかってシーボルト著「日本」に収められる主要な挿絵を展示した。江戸時代における日本の歴史や文化、慣習を知るうえで有効な企画展となった。本学博物館の特別展ではキリスト教に関するものを実施しているが、これとは少し性格の異なる企画展であるため、おおくの新しい来館者に恵まれた。そして、今後のシリーズ化も視野に入れた取り組みとなることとなった。なお、次回の特別展の告知も、最初におこなった。



企画展

「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」 実施報告

開催概要

「蒙古襲来絵詞」は上巻には1274（文永11）年の文永の役、下巻には1281（弘安4）年の弘安の役を取めたものである。これらはモンゴル帝国（元）のフビライ＝ハンが日本に侵攻したことを示し、元寇という。二度にわたっておこった元寇に参戦したのが本絵巻の主人公である竹崎季長である。

この絵巻は竹崎季長の武功を取めるとともに合戦の様子をリアルに伝えている。弓矢が行き交う激しい交戦、馬上で悠然とした竹崎季長の姿をよく描いている。また、元寇防塁で防衛するためのひとたちも取めるなど、迫り来る元寇への備えを余儀なくされる日本国内の情勢もよくわかる。

本学では1号館新築にあたって、元寇防塁の遺構が検出されている。本体の両面を石積みで堅固に整え、なかには粘土と砂を交互に詰めている。また、南側には粘土と砂を交互に積み重ねた土塁も検出している。

本学には「蒙古襲来絵詞」で描かれている様子が実際に存在している。絵巻に描かれた元寇防塁と本学の遺跡元寇防塁をあわせてご覧いただき、歴史の重みと当時の防衛拠点の臨場感を体感していただければ幸いである。

会期：2010年12月21日（火）～2011年5月16日（月）

会場：西南学院大学博物館特別展室前廊下～2階講堂

展示構想と手法

今回の企画展は、福岡県民には特に馴染み深い“元寇”について取り上げたもので、本学図書館が複製絵巻を所蔵していたことから、これを展示するとともに、各12場面の解説をおこなった。複製ではあったものの教科書などで知られる「蒙古襲来絵詞」を実際にみることができる貴重な機会になったようである。また、学内には元寇防塁が出土していることもあって、絵画の世界を直接見学することができる。絵画では知りえない情報を、元寇防塁を見学してもらうことで改めて提供することができるなどの教育効果があった。



2. 教育活動

博物館実習

実習概要

2010年度は本学学生9名を受け入れ、8月3日（火）から8月27日（金）まで11日間にわたり指導した。前期は基礎実習、後期は実践実習のカリキュラムでおこなった。これとは別に実習の成果を発表する企画展を海の中道マリンワールドの協力を得て開催した。

前半期では博物館活動の概要を説明したうえで、その基幹業務である資料整理、目録作成、調書作成などをおこなった。あわせて、資料の取り扱い（掛軸・卷子・和本）や資料撮影にあたってのカメラ撮影実習をおこなった。また、(株)日本通運長崎支店の協力を得て、資料梱包実習（絵画・陶磁器）の指導にあたってもらった。

後半期では海の中道マリンワールドで展示するための企画展「西南生プロデュースおすすめデートプラン@西新エリア」【11月12日（金）～12月4日（土）】のための準備にあたらせた。各人、担当箇所を撮影しパネル化し、そして解説文も実習生が作成した。また、刊行物の作成にも携わらせ、博物館ニュースの原稿書きと業者との仕事の遣り取りを学生主体でおこなわせた。

博物館学芸員としての実務に少しでも携わることができるように、積極的に博物館資料に触れさせる機会を与えた。また、各実習生による企画展を作成させ、企画趣旨、資料の配置、教育効果などを含めて考えさせ、ディベート形式での発表会をおこなった。学芸員は外部との折衝がおおいため、各社協力を得て学芸員立会いのもと学生主体で印刷、パネル発注の業務にあたらせた。

2010年度博物館実習生

古賀友佳子（文学部英文学科）／高原涼（文学部英文学科）／徳潤葵（文学部外国語学科）／藤吉小巻（商学部商学科）／佐藤春菜（経済学部経済学科）／池内みどり（経済学部国際経済学科）／菱ヶ江恵子（人間科学部社会福祉学科）／日高愛里（国際文化学部国際文化学科）／前田好重（国際文化学部国際文化学科）

実習風景



博物館実習カリキュラム

博物館実習(基礎実習):前期

	8/3(火)	8/4(水)	8/5(木)	8/6(金)	8/7(土)
午前	10:00 準備	10:00 準備	10:00 準備	10:00 準備	10:00 準備
	10:30 オリエンテーション	10:20 調書作成について	10:20 資料梱包と輸送	10:20 企画展の作り方と教育PG	10:20 展示レイアウト作業④
	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00
	11:05 館内施設見学	11:05 調書作成実習①	11:05 美専車と輸送	11:05 企画書作成実習①	11:05 展示レイアウト作業⑤
	11:35	11:35	11:35	11:35	11:35
昼 食					
午後	12:30 博物館活動と資料目録	12:30 調書作成実習②	12:30 資料梱包実習①	12:30 企画書作成実習②	12:30 発表、討論
	13:40	13:40	14:30	13:30	14:30
	13:55 目録作成実習①	13:50 カメラの使い方 (図録、目録、調書)	14:40 資料梱包実習②	13:40 展示レイアウト作成①	14:40 博物館刊行物について
	14:25	16:00	15:10	15:10	15:40
	14:30 目録作成実習②	16:10 資料取扱いと展示	15:15 資料梱包実習③/展示実践①	15:20 展示レイアウト作成②	15:50 刊行物作成実践①
	17:30	17:00	17:00	16:50	16:50
	17:35 実習日誌作成	17:10 資料梱包と展示予備実習	17:10 展示実践②	17:00 展示レイアウト作成③	17:00 刊行物作成実践②
	18:00	18:00	18:00	18:00	18:00
18:20 戸締り・点検	18:20 実習日誌作成	18:20 実習日誌作成	18:20 実習日誌作成	18:20 実習日誌作成	
担当教員・学芸員	高倉洋彰 安高啓明	安高啓明	安高啓明	安高啓明	安高啓明
学芸員補助	平川知佳	平川知佳	平川知佳	平川知佳	平川知佳

博物館実習(実践実習):後期

	8/17(火)-8/23(月)	8/18(水)-8/24(火)	8/19(木)-8/25(水)	8/20(金)-8/26(木)	8/21(土)
午前	10:00 準備	10:00 準備	10:00 準備	10:00 準備	10:00 準備
	10:30	10:30	10:30	10:30	10:30
	11:00 企画展を考える (企画構成)	11:00 企画展作業④	11:00 館外実習④ (フィールドワーク 事前準備)	11:00 企画展作業⑥	11:00 企画展作業⑩
	11:05	11:05	11:05	11:05	11:05
	11:35	11:35	11:35	11:35	11:35
昼 食					
午後	12:30 作業手順と役割分担	12:30 企画展作業⑤	12:30 館外実習 (フィールドワーク)	12:30 企画展作業⑦	12:30 企画展作業⑫
	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
	13:55 企画展作業①	13:55 館外実習① (フィールドワーク事前準備)	13:55 館外実習 (フィールドワーク)	13:55 企画展作業⑧	13:55 企画展作業⑬
	14:25	14:25	14:25	14:25	14:25
	14:30 企画展作業②	14:30 館外実習② (フィールドワーク事前準備)	14:30 館外実習 (フィールドワーク)	14:30 企画展作業⑨	14:30 企画展作業⑭
	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30
	17:35 企画展作業③	17:35 館外実習③ (フィールドワーク事前準備)	17:35 館外実習 (フィールドワーク)	17:35 企画展作業⑩	17:35 企画展作業⑮
	18:00	18:00	18:00	18:00	18:00
18:20 実習日誌	18:20 実習日誌	18:20 実習日誌	18:20 実習日誌	18:20 実習日誌	
担当教員・学芸員	安高啓明	安高啓明	安高啓明	安高啓明	安高啓明
学芸員補助	平川知佳	平川知佳	平川知佳	平川知佳	平川知佳

8/27(金)	
午前	10:00 準備
	10:30
	11:00 展示作業①
	11:05
	11:35
昼 食	
午後	12:30 展示作業②
	13:40
	13:55 展示作業③
	14:25
	14:30 展示作業④
	17:30
	17:35 オリエンテーション
	18:00
18:20	
担当教員・学芸員	安高啓明
学芸員補助	平川知佳

* 学芸員補助は博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科研究生

特別展企画書

学籍番号11AB012
氏名 古賀由佳子

- ① 展覧会タイトル：
「幕末の写真展」
- ② 会期：8月20日～9月4日
料金：大人600円、小人300円
- ③ 主催：西南学院大学博物館
共催：NHK、ペンタックス
後援：高知市観光協会
- ④ 開催概要：
写真は、今や私たちの日常の中に溢れ返っている。私たちは、日常生活の中や旅行先など、さまざまな場所や状況で気軽な気持ちで写真を撮ることが多くなった。しかし、日本に初めてカメラが持ち込まれた天保14年（1843年）には、人々は「写真に撮られると魂がすいとられる」と考えており、写真に映ることを避けていたのであった。それでも明日命があるか分からない武士たちは、記念に自分の姿を写真家に撮らせるようになった。そのため、展示する写真には、写真を撮られ慣れていないぎこちない表情やポーズをした人々や、歴史的に有名な偉人たち、例えば坂本龍馬や高杉晋作などの姿を見ることができる。また当時の景色や風俗についても知ることができるだろう。この「幕末の写真集」では、当時伝わってきたばかりのカメラという技術を用いて切り取られ、そのままの形で残ってきた写真を見ることで、当時の人々の生き方について感じてほしい。
- ⑤ 代表的な資料：
「坂本龍馬像」 上野彦馬
(1886年、高知県立歴史民俗資料館)
「上野彦馬愛用のスタジオカメラ」
(長崎歴史文化博物館)
「一東視窮録」 大野弁吉 (大野からくり記念館)
- ⑥ 章設定：
第一章：写真の輸入
第二章：記念写真の発展
第三章：写真の中の偉人たち
- ⑦ 教育プログラム：
「白黒写真に色をつけてみよう」(費用200円)
当時色のない写真に絵師が色をつけた彩色写真というものがあった。想像して写真に色をつけてみる。
イベント内容：姫野順一氏（長崎大学環境科学部教授）による講演会

特別展企画書

学籍番号11AB095
氏名 高原 涼

- ① 展覧会タイトル：
「ファッションドールにみる
girlish culture ～永遠の憧れ～」
- ② 会期：6月～9月
料金：大人700円
夏季休暇中であり、各地でイベントが多く開催されることを踏まえ、親子連れや遠方からの参加者を期待。
- ③ 主催：西南学院大学博物館
後援：TAKARA TOMY、マテル社、
財団法人日本玩具文化財団
- ④ 開催概要：
リカちゃん人形とBarbie人形—誕生した国こそ違えど、いずれも販売から長きに亘って女性達の心を捉えて離さないファッションドールである。元々子供達の愛玩用に販売された人形であったが、現在では国内外に熱心なコレクターをもつほど成人世代にも人気を誇り、その存在は今や単なる「おもちゃ」としてではなく「コレクション」としての輝きを放っている。
ファッショントレンドの最先端を具現化した彼女達はいつの時代も少女達の憧れの存在だった。少女達は30センチの小さなレディにCUTE・SEXY・LITTLE・PURE・ELEGANT・DREAMY・SHINY・・・あらゆる「素敵」の要素を見ていたのではないだろうか。
本展示会では、これほどまでに女性を魅了してやまない彼女達の魅力とは何なのか、そしてリカちゃんとBarbie人形に見られる日本と欧米の美意識の違いについて考察していく。時代の流れと共に姿を変えてきたきらびやかな彼女達の姿に、大人は懐かしいときめきを、子供達にはブラッシュアップされ続ける永遠の可愛らしさを感じてもらいたい。
- ⑤ 代表的な資料：
・初代～4代目リカちゃん
(TAKARA TOMYリカちゃんキャッスル)
・初代～現代Barbie(マテル・インターナショナル)
・限定リカちゃん
・ビンテージBarbieハウス
- ⑥ 章設定：
I. CuteとSexy—LiccaとBarbie
II. ファッション・ミュージックとしてのファッション・ドール
- ⑦ 教育プログラム、イベント内容：
・「ファッション・ドールの”kawaii”の魅力」
関連講演？
・ワークショップ1.
『なりきりファッション・ドール』
子供達に年代ごとに分けたリカちゃん、Barbieの服と同じものを着用してもらい、「お人形気分」を体感してもらう。
・ワークショップ2. 『リカちゃん&Barbieのお部屋』とし、館全体をフィーチャーして実際に触れて楽しめる空間を作る。

特別展企画書

学籍番号11AC086
氏名 徳 淵 葵

- ① 展覧会タイトル：
「The Kitty' s world ～万国共通のキャラクター～」
- ② 会期：7月20日～9月30日
料金：大人1200円、小人700円
- ③ 主催：西南学院大学博物館
後援：株式会社サンリオ
- ④ 開催概要：
左耳の付け根に赤いリボンをつけた白い子ネコ。「ハローキティ」は、日本国内外において、日本のポップカルチャーの代表的存在の一つとして認識されているキャラクターである。“キティちゃん”と愛称で呼ばれる同キャラクターは、発表当初は「女子児童向けキャラクター」であったが、現在では成人女性、男性にも支持され、持ち物全てをキティグッズで揃えた若者たちを指す「キティラー」という言葉が生まれるほど、国内の認知度も急速な広がりを見せた。文房具を中心に、食品、パソコンから軽自動車まで、日常生活のほぼ全領域に登場するキティちゃんは、実に多種多様な姿・形を持つ。その愛くるしい容姿は海外でも絶大な人気を誇り、現在、世界70カ国でハローキティグッズが展開される。
本展覧会では、ハローキティの誕生から現在に至るまでの足取りを追い、日本のキティちゃんの進化の歴史と、世界にみるキティちゃんの描写を紹介する。これほどまでに世代を超えて、国境を越えて愛され続け、支持され続けている人気の秘密を探り、愛らしくも見る人によって様々な表情を見せるキティちゃんの奥深い魅力を、是非、感じて頂きたい。
- ⑤ 代表的な資料：
初代キティちゃん
世界のキティ
ご当地限定キティ
- ⑥ 章設定：
1. キティの誕生
2. キティの今昔
3. 世界から見たキティ
4. キティ日本一周の旅
- ⑦ 教育プログラム、イベント内容：
1. オリジナルキティプロジェクト
自分自身でキティちゃんを考えてもらい、世界で一つだけのオリジナルキティをデザインする企画。
出来上がった作品はステッカーにしてプレゼント。
2. キティちゃんクイズコーナー
展覧会を通して得られた知識をもとにクイズに挑戦してもらう。

特別展企画書

学籍番号11AF116
氏名 藤原 小巻

- ① 展覧会タイトル：
「九州のキジ馬・キジ車展」
- ② 会期：2010年11月～2011年2月
(日本の涼しくなる時期と子供の冬休み、正月休みがあるのを踏まえて、家族皆で訪れるのによい機会だと思われるため。)
料金：大人600円、小人200円
- ③ 主催：西南学院大学博物館
共催：黒田記念室
(資料を多数所蔵しているようなので。)
後援：各伝統工芸製作所、保存会
- ④ 開催概要：
九州山脈から木を産し製品とする木地師(きじし)が作ったことからそう呼ばれるようになった九州各地の「キジ馬・キジ車」は、東北のこけしに匹敵する郷土玩具といわれている。キジ馬・キジ車の呼び名はその土地の人々が呼び習わしている呼び方で、発祥地と分布によって使い分けられる。そんなキジ馬・キジ車は素朴で自然味あふれる姿の中に、とてもチャーミングな色合い・表情を持っている。
残念なことに、人吉・清水寺・三池などを除いて、その多くが現在では作られていない。後継者がおらず危機的状況にあるキジ馬・キジ車の魅力を本展覧会を通じて沢山の山の人々に再認識・新発見していただければ幸いである。産地・作者ごとに異なるその造形のおもしろさを見比べながら、それらを生み出し楽しんだ人々の暮らしを思い浮かべてほしい。
- ⑤ 代表的な資料：
各地域ごとのキジ馬・キジ車の写真(黒田記念室)
- ⑥ 章設定：
I. キジ馬・キジ車は何かからできているのか(素材)
II. キジ馬・キジ車の形状、色、模様
(地域ごとの特色)
III. 九州キジ馬・キジ車MAP
- ⑦ 教育プログラム：「キジ馬・キジ車ワークショップ
～作ってみよう!～」
実際に作ってもらうことでキジ馬・キジ車の魅力をもっと実感してもらう。

特別展企画書

学籍番号11AH251
氏名 佐藤 春菜

- ①展覧会タイトル：
「ベルサイユのばらとマリーアントワネットの世界」
- ②会期：3月30日から6月30日まで
ベルサイユのばらの華やかな雰囲気や春という季節にあうから。(バラの開花期間も踏まえて6月まで延長) 主にベルばら世代の方を狙うが、春休みやGW期間中の親子連れも期待。
料金：大人1000円、子ども500円
- ③主催：西南学院大学博物館
共催：池田理代子プロダクション
後援：フランス観光協会、フランス国立美術館連合、宝塚財団、バンダイ、中央アート出版社
- ④開催概要：
漫画家池田理代子氏によるベルサイユのばらの世界観を本に、実在の人物であるマリーアントワネットの遺品などの展示により、彼女の考え方や嗜好や実際の性格を迫り、且つ、当時のフランス貴族の暮らしぶりに思いを馳せ、フランス革命という激動の時代を漫画のストーリーと合わせて楽しみながら理解を深めていく。
- ⑤代表的な資料：
池田理代子氏によるベルサイユのばらの原画
マリーアントワネットなどの肖像画
(漫画に登場する人物が実在の人物であれば、漫画と肖像画を並べて展示する)
マリーアントワネット遺品や関連資料(ヴェルサイユ美術館蔵の首飾り事件の首飾りのレプリカなど)
- ⑥章設定：
ベルサイユのばらのストーリーにあわせて章を構成(会場全体にアニメベルサイユのばらの音楽を流す ※アントワネットの晩年期は音楽を消す) 座って鑑賞できる映像ブースを設け、アニメや池田氏の作成秘話などを流す。
第1章：漫画のストーリーと実際の歴史を平行で展示
第2章：マリーアントワネットの人物像(漫画のアントワネットとの比較)
第3章：ベルサイユのばら関連(宝塚の脚本となるまでのストーリー衣装の展示、どのように空想の人物であるオスカルがつくられたのかなど。)
- ⑦教育プログラム、イベント：
池田理代子氏による講演会
ワークショップ
なりきりベルサイユのばら(衣装の貸出による記念撮影)(有料)
ベルサイユのばらが読める図書コーナー(関連図書も)
ぬり絵コーナー(小さい子ども向け)
マリーアントワネット作曲の音楽を聴くコーナー
食堂やカフェとコラボレーション アントワネットのマカロン
ベルばら関連グッズ販売(薔薇の販売も含む)

特別展企画書

学籍番号11AK005
氏名 池内みどり

- ①展覧会タイトル：
「携帯電話展」
- ②会期：8月1日～8月31日
料金：大人600円、小人300円
- ③主催：西南学院大学博物館
共催：通信総合博物館(ていぱーく)
後援：西日本新聞、NTT DoCoMo、au by KDDI、soft bank、SHARP、富士通、NEC
- ④開催概要：
今日では携帯を持っていない人のほうが珍しいような時代になってきた。しかしほんの10年前には、携帯電話は普及しておらず、電話といえば自宅の固定電話や街に設置されている公衆電話が主に使用されていた。このように数年で急速に普及した携帯電話の歴史とはどういうものだったのだろうか。またこの展示では多くの人が知らずに使っている携帯電話の仕組みについても触れていく。電話がなぜつながるのか、どうしてどこでもつながるのかといった疑問の解決の糸口が見つかるよう、できる限りわかりやすく、図やパネル、映像を用いて説明していきたい。この展覧会を通して、携帯電話のなかった時代、成熟期である現在、そして未来の人々の生活も思い浮かべながら、携帯電話について改めて考えてほしい。
- ⑤代表的な資料：
昭和60年代のショルダーフォン(通信総合博物館)
- ⑥章設定：
第一章：携帯電話の歴史
～誕生から現在に至るまで～
第二章：なぜ携帯はつながるの？
～そのしくみについて～
第三章：これからの携帯電話～最新の機能～
- ⑦教育プログラム：
・携帯の専門家による使い方講座
・マナーや困ったときの対処法

特別展企画書

学籍番号11AP167
氏名 菱ヶ江恵子

- ①展覧会タイトル：
「学校給食の変遷～日本人の食生活の変化～」
- ②会期：7月24日～9月30日
料金：大人600円、小人 無料※対象…特に50代女性
- ③主催：西南学院大学博物館
共催：朝日新聞社、おもちゃメーカー
後援：福岡県教育委員会、福岡県学校給食会、
福岡県、福岡市
- ④開催概要：
学校給食は子どもから高齢者まで多くの日本人が一度は食べたことがあるものである。また学校給食はその時代の社会情勢や文化などと密接に関係している。この展覧会では、初期の学校給食から今日の学校給食までをサンプルで振り返り、日本人の食に対する考え方を見直す機会としてほしい。給食サンプルと共に、小学生の体格の変化、食生活と生活習慣病の増加などを紹介し、健康的な食生活とは何かを学べる展覧会とする。
- ⑤代表的な資料：
・日本で最初の給食（明治22年山形県）
・脱脂粉乳のある給食（昭和20年）
・平成以降の給食（ケーキあり、バイキングありの多様化したメニュー）
→京都市学校歴史博物館所蔵
・昭和の小学校の教室の一部を再現
（当時の机とイス、給食サンプルを用意し、写真撮影できるコーナーを設ける）
- ⑥章設定：
第一章：給食のはじまり
第二章：昭和の給食
第三章：平成の給食
・給食の風景を写真や映像で紹介
・当時の流行や社会情勢をパネルで紹介
・マネキンを使用し、小学生の体格の変化を提示
・疾病の変化、生活習慣病の増加、関連を紹介
- ⑦教育プログラム：
・食育インストラクター服部幸應氏(料理評論家、教育者)による「食育を考える」講演(食の歴史、食育について)
・クイズ、スタンプラリーコーナー
・ワークショップ「献立を考えよう！」(ミニチュアサンプルから数点を選び、オリジナルのバランスのとれた献立を作る。出来上がったミニチュアメニューはお持ち帰りOK。500円)
・主催博物館関連の施設(大学の食堂など)で、展覧会期間中、学校給食風のメニューを提供。

特別展企画書

学籍番号11AR122
氏名 日高 愛里

- ①展覧会タイトル：
「ゲゲゲの一夏妖怪大冒険」
- ②会期：7月10日～9月21日
料金：大人1500円、小人950円
- ③主催：西南学院大学博物館
共催：(株)水木プロダクション
後援：鳥取県境港市、東映アニメーション、小学館、
講談社、日本経済新聞社、青林堂
- ④開催概要：
漫画家水木しげるによる漫画「ゲゲゲの鬼太郎」の世界を作者の生い立ちを紹介しながら、鬼太郎誕生までの歴史とそれに伴う関連資料を展示。怪談話で盛り上がる夏の期間のみ限定で開催する予定。怪奇物の展示が中心になるので妖怪関連の展示室には、部屋を暗めにしたり、不気味な音や冷や冷やする風などを使い、お化け屋敷の様な鳥肌の立つ演出を取り入れる予定。恐怖を肌で感じながら展示物の魅力を感じてほしい。
- ⑤代表的な資料：
・水木プロダクションから漫画原稿、画集、妖怪の資料、水木氏のサイン
・東映アニメーションからTVアニメ版「鬼太郎」の動画（全シリーズ）
・水木しげるロード（鳥取県境港市）から妖怪ブロンズ像の写真
・妖怪関連の巻物（くもん子供研究所所蔵）、（河鍋暁斎記念美術館所蔵）、（川崎市市民ミュージアム所蔵）
- ⑥章設定：
第一章：水木しげるの人物伝（水木氏の書斎を思わせる空間を演出）
第二章：鬼太郎の世界（鬼太郎の原画中心、関連資料）
第三章：鬼太郎と妖怪たち（最古の妖怪絵巻物「百鬼夜行絵巻」などと一緒に水木氏の妖怪イラストや解説を交え展示）
- ⑦教育プログラム：
・ギャラリートークの実施
・解説シートの作成
・小説家押尾健太郎氏による妖怪入門講座
・評論家荒俣宏氏による妖怪講演
ワークショップ
・妖怪の特徴、名前当てクイズ実施
・スタンプラリー
・記念写真パネルの設置
・鬼太郎の世界を作ろう！ペーパークラフト体験
・アフレコ体験
イベント
・鬼太郎の着ぐるみが来館（2週間限定）
・鬼太郎パン販売

特別展企画書

学籍番号11AR132
氏名 前田 好重

① 展覧会タイトル：

「リアルなフェイク～食品サンプル展～」

② 会期：夏休み期間（7月中旬～8月末）

料金：大人500円、小人300円

③ 主催：西南学院大学博物館

共催：株式会社いわさき、食品サンプルまいづる、
ながお食研

後援：西日本新聞社、ロイヤル

④ 開催概要：

通りすがりの人々の注意を引き、絶大な視覚効果で消費者の食欲・来店意欲を高める食品サンプル。最近では、飲食店の販売促進ツールとしてだけでなく、海外からの観光客のお土産や部屋のインテリア、アートとしても利用されるようになってきている。そんな食品サンプルの誕生の歴史やその普及に貢献した人物等について紹介し、また多くの実物を目の前で見てもらうことによって、食品サンプルの魅力をたくさんの人に伝えたい。日本が誇る食品サンプル文化の保護、発展につながる企画展になることを目指す。

⑤ 代表的な資料：

- ・「食品サンプル第一号記念オム」（株式会社いわさき）
- ・「チャーハンの躍動(仮名）」(TVチャンピオン「食品サンプル王選手権」優勝者 竹内繁春さんの作品)

⑥ 章設定：

- 第一章：食品サンプルとは（役割、目的、誕生の歴史的背景）
- 第二章：一般的な食品サンプル（レストランのディスプレイ：主に夏のメニュー）
- 第三章：発展版食品サンプル（おいしい瞬間の表現、大賞受賞作品）
- 第四章：食品サンプルの未来（アート、オブジェ、玩具として）

⑦ 教育プログラム、イベント内容：

- ・竹内繁春さんによるワークショップ～サンプル作り体験～
参加費：一人1000円（材料費込）
所要時間：1時間
- ・クイズイベント～どちらが本物でしょう～
本物の食品と食品サンプルを並べ、どちらが本物か参加者に当ててもらおう。優勝者には好きな食品サンプルを1つプレゼントする。

博物館実習生企画展

「西南生プロデュース!オススメデートプラン@西新エリア」

実施報告

本年も海の中道マリンワールドのご協力を得て、1階エントランス部分を利用させていただき実習生による企画展を開催した。テーマは「西南生プロデュース!オススメデートプラン@西新エリア」で、9名の実習生が手分けして西新界隈の名所旧跡、飲食店などを訪れ、写真撮影や聞き取り調査をおこなった。実習プログラムのフィールドワークを兼ねたもので、3班のグループにわかれて、企画立案から展示にわたる一連の業務をおこなった。

年齢別によるものや熟練度にしたがった散策コースも設定され、四年間本学を学び舎とした学生らしい企画となった。企画立案では、意見の集約、実施の可能性などが議論されるなど、真剣な取り組みがみられた。博物館学芸員の基幹業務である企画展の開催にあたって、どのようなプロセスを経ていくのかが、各人身をもって感じる事ができたという感想が寄せられた。

実際の展示にあたって、事前のレイアウトに従って作業がおこなわれた。現場判断を要する場面にも遭遇するなど、いい体験ができたのではないかと。9名がひとつのテーマに取り組んだことにより、チームの統率力や瞬時の決断力、業者との交渉、デザイン能力など、博物館学芸員の職務は多岐にわたることを経験することができたいい機会となったものと思う。

会 期：2010年11月12日（金）～12月4日（土）

会 場：海の中道マリンワールド エントランス

展示作業風景



展覧会場風景



2010年度 せいなんこどもワークショップ概要

2010年10月から3月にかけて、西新周辺の学校に通う児童を対象にワークショップをおこなった。これまで本学に訪れたことのない子供たちが参加し新しい地域貢献のかたちとなった。

第1回 2010年10月30日（土）西新の歴史マップを作ろう

本学1号館の元寇防塁、紅葉八幡宮、猿田彦神社などの西新地区の名所旧跡を実際に歩き、地域の歴史文化にふれた。それぞれ印象に残った場所やもの、気になったことを白地図に書き込んでもらい、西新の歴史マップを作成した。最後にグループごとに発表をおこなった。



第2回 2010年11月13日（土）音楽とお話に親しもう

安高学芸員による特別展「海を渡ったキリスト教」のギャラリートークの後、2階講堂で応援指導部によるサクソ演奏と演奏体験（ハンズオン）、上中美緒さんのピアノ伴奏による合奏をおこなった。最後に安積道也音楽主事によるパイプオルガンについての講話と、演奏体験として実際にパイプオルガンを鳴らし、日頃触れることのできないパイプオルガンに親しんでもらった。



第3回 2010年12月11日（土）クリスマスのグリーティングカードを作ろう

前半はハンキンス宗教主事によるクリスマス講話をおこなった。贈る相手のことを思いながらクリスマスカードを作成した。立体的にクリスマスツリーが飛び出すような仕組みのカードに、思い思いにメッセージを書いてもらった。モールやビーズなどの飾りも使い、それぞれの個性豊かなカードが出来上がっていた。



第4回 2011年1月8日（土）お正月について学ぼう！留学生のお兄さんお姉さんと餅つきをしよう
安高学芸員によるお正月の講話の後、2班にわかれて留学生別科の学生とクロスプラザ横で餅つきをおこなった。石臼と杵を用いて、交代でついてもらった。古代米を使用した餅は赤色となり、参加者達の興味をひいていた。それぞれつきたての餅の形を整え、好きなトッピングを選んで自由に食べてもらった。



第5回 2011年2月5日（土）鬼の面をつくろう

本学非常勤講師吉田扶希子先生による節分の由来や意味の講話、櫛田神社の節分神事のビデオのあと、画用紙で鬼の面を作成した。作った鬼の面を用いて、最後に参加者全員で豆まきをおこなった。また、江戸時代の豆飾り（節分飾り）や、鬼の面、ひいらぎといわしで作るやいかがしを紹介した。特にやいかがしは初めてみたという参加者が多く興味をひいていた。



第6回 2011年3月12日（土）おひなまつりをしよう

臨時職員貞清世里によるひな祭りの由来の講話の後、参加者に夫婦雛飾作りと貝合わせの札作りのどちらかを選んでもらった。講話では、流し雛や紙製人形、ハマグリ、菱餅なども紹介したが、流し雛への関心が高かった。最後に参加者全員で作成した札を用いて貝合わせ（絵合わせ）大会をおこない、大変盛り上がった。



2010年度 博物館教職員活動記録

高倉 洋彰（西南学院大学博物館館長・国際文化学部教授）

【論文・資料】

- ・「奴国と倭国」（大阪府立弥生文化博物館・九州国立博物館、2010年10月）78～82頁
- ・「漢委奴国王」金印の読み方」（志賀島歴史研究会、2010年10月）4～5頁
- ・「鎮護国家の伽藍配置」（日本考古学協会、2010年10月）21、36～46頁
- ・「『魏志』倭人伝の道」（長崎県教育委員会、2010年10月）2～3頁
- ・「禁教の歴史と福岡のキリスト教」（安高啓明と共著）（『温故』第49号「秋月・今村のキリシタン—信仰・禁教・祈り続けて—」甘木歴史資料館、2010年10月）8～13頁
- ・「魏志倭人伝の道」（長崎県教育委員会、2011年3月）9～10、31～56頁

【社会活動】

- ・秋田市地蔵田遺跡環境整備指導委員会委員（2002年4月～）
- ・北九州市立自然史・歴史博物館協議会委員（2003年9月1日～）
- ・九州国立博物館評議員会評議員（2005年7月1日～）
- ・福岡市博物館資料収集委員（2006年7月1日～）
- ・九州国立博物館評議員会副会長（2007年4月～）
- ・福岡県文化財保護審議会専門委員（2008年4月1日～）
- ・太宰府市公文館構想調査研究委員会副会長（2008年12月8日～）
- ・筑紫野市文化振興審議会会長（2010年4月1日～）
- ・文化審議会第一専門部会文化財専門委員会考古資料委員会委員長（文部科学省）（2011年2月28日～2012年2月）

安高 啓明（西南学院大学博物館学芸員）

【単著】

- ・『新釈犯科帳』第一巻（長崎文献社、2011年3月）1～253頁

【共著・編著・共同執筆】

- ・『徳川幕臣人名辞典』（東京堂出版、2010年8月）【共同】
- ・『萩市隠れキリシタン調査事業報告書』（萩市、2011年3月）【共同】

【論文・書評】

- ・「豊後国における絵踏み—臼杵藩と岡藩を中心に—」（2010年度春季特別展『南蛮の鼓動—大分に残るキリシタン文化—』西南学院大学博物館、2010年5月）41～45頁
- ・「禁教の歴史と福岡のキリスト教」（高倉洋彰と共著）（『温故』第49号「秋月・今村のキリシタン—信仰・禁教・祈り続けて—」甘木歴史資料館、2010年10月）8～13頁
- ・「平戸藩の絵踏みと踏絵の写し」（2010年度秋季特別展『海を渡ったキリスト教—東西信仰の諸相—』西南学院大学博物館、2010年11月）54～58頁
- ・書評「大平祐一著 近世の刑事裁判と「無罪」—刑事裁判像の再検討—」（『法制史研究』第60号、法制史研究会編、2011年3月）

【その他】

- ・「長崎発「犯科帳」にみる江戸時代の女性—其の伍」(長崎県県民生活部男女参画・県民協働課 男女共同参画推進センター編『ながさき男女共同参画推進センターだより』Vol.51、2011年9月) 2頁

【講演・発表】

- ・2010年6月26日(土)
第7回特別展関連公開講演会(西南学院大学博物館)「大分に残る南蛮文化」(於西南学院大学博物館2階講堂)
- ・2010年8月28日(土)
第71回民衆思想研究会(早稲田大学)「町人の法認識—犯罪との関係性から—」(於長崎市立図書館研修室)
- ・2010年11月13日(土)
企画展関連講演会(甘木歴史資料館)「禁教の歴史と福岡のキリスト教」(於朝倉市中央図書館2階視聴覚室)

【社会活動】

- ・NHK文化センター長崎教室講師『古文書「犯科帳」に挑戦しよう』(2007年1月～)
- ・新長崎市史執筆委員(2010年3月～)
- ・萩市隠れキリシタン調査事業協力者(2010年12月～)

貞清世里 (博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士後期課程)

【論文】

- ・「鎮護国家の伽藍配置」(日本考古学協会、2010年10月) 22～36頁
- ・「川原寺式伽藍配置の検討」(『西南学院大学大学院国際文化研究論集』第五号、2011年1月) 155頁

博物館刊行物・成果物



春季特別展図録

[A4版 48項 3000部発行 発刊日2010年5月27日]

目次	
ごあいさつ	
西南学院大学博物館 館長 高倉洋彰	2
開催趣旨	3
豊後国とキリスト教	4
目次・凡例	5
本編	
I. 大友宗麟と豊後府内	6
II. 南蛮文化の精華	13
III. 受容と信仰	28
IV. 大友府内の交流	31
豊後国とキリスト教関係年表	35
論考	
寄稿「府内の教会とキリシタンの文化」	
東京大学名誉教授 五野井 隆史	37
「豊後国における絵踏み—臼杵藩と岡藩を中心に—」	
西南学院大学博物館学芸員 安高 啓明	41
謝辞・講演会・参考文献	46
出品目録	47



秋季特別展図録

[A4版 62項 3000部発行 発刊日2010年11月2日]

目次	
ごあいさつ	
西南学院大学博物館 館長 高倉洋彰	2
開催趣旨	3
目次・凡例	4
本編	
I. 海路を通じて～外国船がもたらしたもの	5
II. 日本のキリスト教～信仰と弾圧、そして復活へ	
1. 伝来と受容	11
2. 禁教の世	16
3. 苦行と信仰	23
III. 非西欧圏のキリスト教	32
IV. 現存するキリシタン書物	38
論考	
寄稿「博多と秀吉の天正禁教令をめぐって」	
中央大学文学部元教授 中央大学人文科学研究所客員研究員 清水 紘一	45
「平戸藩の絵踏みと踏絵の写し」	
西南学院大学博物館学芸員 安高 啓明	54
謝辞・講演会	59
出品目録	60



西南学院大学博物館年報 第2号

[A4版 48項 部発行 発刊日2010年8月31日 ISSN 1884-8885]

目次	
巻頭言	3
西南学院大学博物館沿革	5
西南学院大学博物館構造	6
2009年度事業報告	
1. 展示活動	
春季特別展「信仰とその証—鳥原・天草の乱と天草四郎」実施報告	8
秋季特別展「祈りの継承—ユダヤの生活と儀礼—」実施報告	14
企画展「世界人物図巻の世界」実施報告	19
2. 教育活動	
博物館実習	21
2009年度主催講演会	27
職員研究・社会活動	28
博物館刊行物	30
講堂利用一覧	32
3. 来館者動向	
来館者統計	33
特別展期間別来館者統計	35
来館団体一覧	42
4. 広報活動	44
寄贈図書一覧	45
博物館組織	
職員構成	47

こども用パンフレット「海を渡ったキリスト教—東西信仰の諸相」 【2000部 発刊日2010年11月】

おおくの外国船のおとずれで日本に「南蛮文化」がうまれます。南蛮とはポルトガルやスペインなどのことをさします。町なかには彼らがつくつ帽子が売られるなど、これまでの日本にはみられないような光景が広がっていました。

海にゆこまれた日本だからあたらしい物は船が運んできたんだね。

なにを運んできたのかなあ？

西南学院大学博物館
TEL:092-623-4785 FAX:092-623-4811 福岡県早良区早良3701-1501号
URL: www.swinac.ac.jp/museum/

1587(天正15)年に豊臣秀吉が博多港で「パレン通放令」を発表します。キリスト教を広くよする外国人などを日本から追い出そうとしました。

1543(天文12)年、鹿児島島の種子島にポルトガル船が鉄砲をのせてやってきました！これまでなかったことのないあたらしい武器にみんな驚くばかりでした。

1549(天文18)年、フランススコザビエルが鹿児島にやってきました。ザビエルは日本にキリスト教を伝えた最初のひとです。九州をはじめ、京都にも行くなど一生懸命活動しました。

1873(明治6)年、ついにキリスト教の信仰が認められるようになります！ひそかに信仰していた人たちはこれをよることで、前に建てられた教会に行きました。しかし、これまでとかわらないまま、信仰する意欲もいのでした。

インドやフィリピンなどの東南アジアにもキリスト教は伝わります。インド・ゴアには1542年にザビエルがおとずれています。留母マリアとともに、ザビエルもおおくの入ら尊敬されました。

キリスト教を熱心に信仰する人のなかにはつよく信仰したことで、おおくの奇跡を体験する信者もいました。外国ではその人たちが「聖人」としてお祈りしていました。

大海原をわたって、いろいろな品物が伝わりました。それらを運んできた船は、特に蘭船の日本には欠かせませんでした。また海を通じてもたらされたなかには、知識や思想、技術など目にもみえないおおくの「モノ」がありました。これらはさまざまな形で、みんなに受け入れられ今日に伝わっているのです。

まわりを海でかこまれた日本は、船が外国のあたらしい品物や文化、知識などを運んできました。飛行機もなかった時代、荒波のなかでやってくる外国船は常に危険ととりあわせでした。

1592(文禄元年)に豊臣秀吉が「パレン通放令」を発表し、キリスト教を禁じた。この命令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この命令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この命令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。

1600(慶長5)年に徳川家光が「キリシタン禁教令」を発表し、キリスト教を禁じた。この命令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この命令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この命令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。

1639(徳川幕府)に鎖国令が公布され、外国との貿易が制限された。この鎖国令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この鎖国令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この鎖国令は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。

1854(安政元年)に神奈川条約が締結され、外国船の寄港が認められた。この条約は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この条約は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この条約は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。

1858(安政5)年に神奈川条約が締結され、外国船の寄港が認められた。この条約は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この条約は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この条約は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。

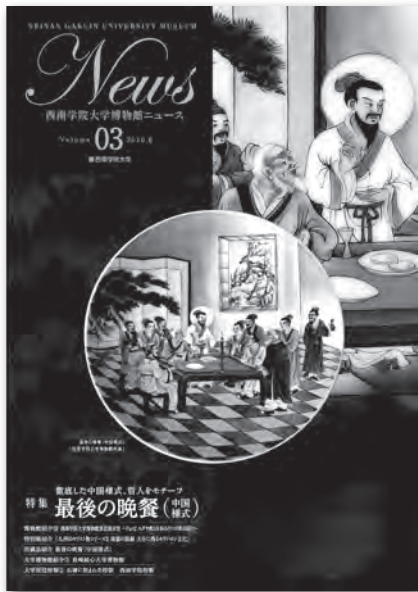
1868(明治元年)に明治維新が始まり、キリスト教の信仰が認められるようになった。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。

1873(明治6)年に明治維新が完了し、キリスト教の信仰が認められるようになった。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。

1873(明治6)年に明治維新が完了し、キリスト教の信仰が認められるようになった。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。この明治維新は、キリスト教を信じていた人々を苦しめた。

博物館ニュース Volume.3

【2000部発行 発刊日2010年6月】



Volume.3

特集：徹底した中国様式、哲人をモチーフ 最後の晩餐（中国様式）
 博物館紹介Ⅲ：西南学院大学博物館常設展示室
 ～Part2 ユダヤ教と日本のキリスト教の紹介～
 特別展紹介：「九州のキリスト教シリーズⅡ 南蛮の鼓動 大分に残るキリシタン文化」
 所蔵品紹介：最後の晩餐（中国様式）
 大学博物館紹介③：長崎純心大学博物館
 大学周辺情報③：石碑に刻まれた校歌 西南学院校歌



博物館ニュース Volume.4

【2000部発行 発刊日2010年9月】



Volume.4

特集：信仰していた証 陶製観音マリア像
 博物館紹介Ⅳ：西南学院大学博物館ドージャー記念室
 企画展紹介：シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON
 所蔵品紹介：陶製観音マリア像
 大学博物館紹介④：別府大学附属博物館
 大学周辺情報④：C.K.ドージャーの遺訓



博物館ニュース Volume.5

【2000部発行 発刊日2010年12月】



Volume.5
 特集：貧しい小作農の家に生まれた敬虔な信者
 博物館紹介Ⅴ：特別展示室（展示室Ⅱ）
 特別展紹介：海を渡ったキリスト教—東西信仰の諸相—
 所蔵品紹介：聖イシドロ画
 大学博物館紹介⑤：神戸大学海事博物館
 大学周辺情報⑤：東キャンパスにそびえるユリノキ



博物館ニュース Volume.6

【2000部発行 発刊日2011年3月】



Volume.6
 特集：キリスト教を禁じた御触 キリシタン制札
 博物館紹介Ⅵ：階段とガラス窓
 企画展紹介：蒙古襲来絵詞と元寇防塁
 所蔵品紹介：キリシタン制札
 大学博物館紹介⑥：学習院大学史料館
 大学周辺情報⑥：西南学院の発展とともに ソテツ



博物館講堂使用状況

期 日	使用時間	使 用 団 体 (者)	集 会 名 称	人数
4月 5日(月)	10:00~12:00	神学部	神学部始業礼拝	95名
4月12日(月)	9:00~10:30	西南学院中学校	新入生オリエンテーション	230名
4月22日(木)	12:30~13:00	博物館事務室	事務局新任職員研修	5名
5月11日(火)	15:10~16:40	国際文化学部宮崎克則教授	日本近代史講義	42名
6月 8日(火)	10:00~11:00	秘書課	香港教育者団体ご案内	40名
6月 9日(水)	9:00~10:30	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	54名
	13:30~15:00	経済学部村岡伸秋教授	基礎演習Ⅱ講義	20名
6月10日(木)	11:10~12:40	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学(Ⅰ)」講義	47名
6月18日(金)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	演奏会リハーサル	30名
6月19日(土)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	演奏会	30名
6月20日(日)	13:30~18:30	福岡バツハコレギウム	演奏会	341名
6月23日(水)	14:00~14:10	児童教育学科 古田雅憲教授	卒業アルバム撮影	12名
6月26日(土)	14:00~16:30	第7回特別展公開講演会聴講者	第7回特別展公開講演会	101名
6月28日(月)	10:40~12:10	神学部	ロングチャペル	53名
7月10日(土)	11:00~14:00	キャンパスサポート西南	結婚式	50名
8月 7日(土)	10:00~21:00	ウィーンフェスティバル実行委員会	演奏会リハーサル及びミニコンサート	45名
8月 8日(日)	8:45~18:00	ウィーンフェスティバル実行委員会	ウィーンフェスティバル コンサート	268名
8月19日(木)	9:00~15:00	ソラリアプラザ	リーフレット撮影	8名
9月 9日(水)	13:00~18:00	西南学院ESS	ギャロット杯リハーサル	7名
9月18日(土)	15:00~17:00	寺園院長	リコーダー練習	9名
9月22日(水)	9:00~10:30	児童教育学科 古田雅憲教授	教職総合演習講義	20名
9月25日(土)	13:00~18:00	西南学院ESS	ギャロット杯リハーサル	7名
9月29日(水)	13:30~16:00	入試課	朝倉高校PTA	61名
	9:00~10:30	児童教育学科 古田雅憲教授	教職総合演習講義	20名
10月 2日(土)	13:00~18:00	西南学院ESS	ギャロット杯リハーサル	8名
10月 9日(土)	13:00~18:00	西南学院ESS	ギャロット杯リハーサル	5名
10月16日(土)	11:00~15:00	キャンパスサポート西南	結婚式	80名
10月23日(土)	13:00~18:00	西南学院ESS	ギャロット杯リハーサル	6名
11月 4日(木)	9:00~10:30	国際文化学部 今井尚生教授	キリスト教学Ⅱ	32名
11月 6日(土)	14:00~16:30	博物館事務室	第8回秋季特別展公開講演会	70名
11月13日(土)	9:30~12:00	博物館事務室	第2回子どもワークショップ	14名
	14:00~16:00	西南学院ESS	ギャロット杯リハーサル	3名
11月20日(土)	10:00~12:00	西南学院大学レクリエーション研究会	創立記念50周年記念式典	80名
	13:00~18:00	西南学院ESS	ギャロット杯リハーサル	35名
11月21日(日)	9:00~18:00	西南学院ESS	ギャロット杯	70名
12月 4日(土)	18:00~21:00	バツハコレギウム	演奏会リハーサル	30名
12月 5日(日)	13:30~18:30	バツハコレギウム	演奏会	180名
12月11日(土)	12:00~16:00	西南ブリエール	演奏会	120名
12月27日(月)	9:00~13:00	キャンパスサポート西南	結婚式	45名
1月29日(土)	12:30~16:30	キャンパスサポート西南	結婚式	85名
3月26日(土)	10:00~17:00	MI・らん・NE	コンサートリハーサル	18名
3月27日(日)	10:00~17:00	MI・らん・NE	コンサート	70名
毎週月曜日	11:00~12:00	神学部	チャペルアワー	—
毎週木曜日	15:10~16:40	神学部非常勤講師 青野詔子	神学部授業 キリスト教音楽A、B	—
毎週金曜日	10:40~12:10	神学部非常勤講師 青野詔子	神学部授業 教会音楽研究A、B	—
	14:40~16:10	神学部非常勤講師 青野詔子	神学部授業 教会音楽研究C、D	—

3. 来館者動向

来館者統計

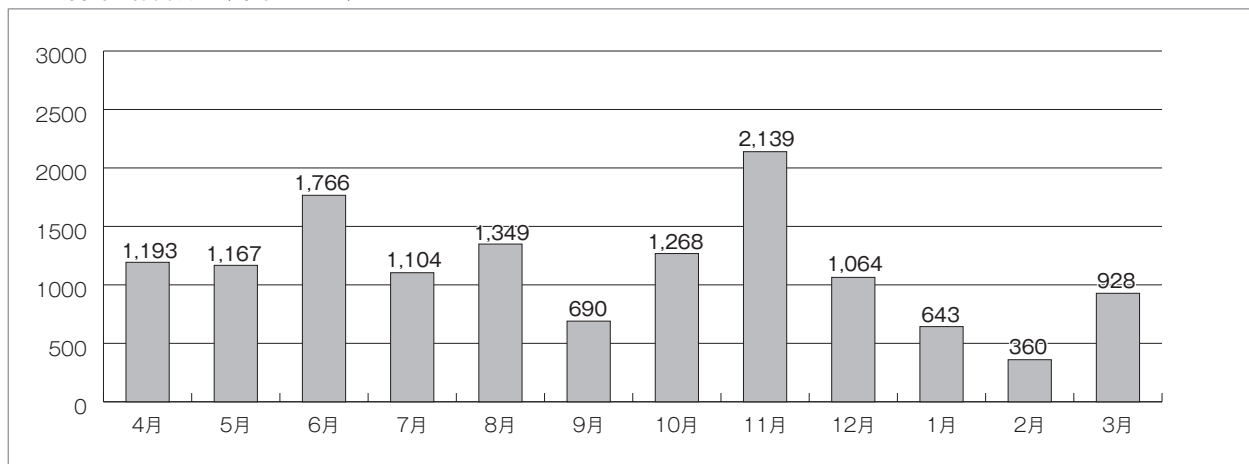
開館以来来観者数 64,474人
 2010年間来館者数 13,671人
 2006~2009年間来観者数 50,803人

2010年度 月別来館者統計

2010年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		27	26	26	28	27	26	26	27	23	26	24	27	313
学内	教職員	97	64	83	26	11	29	51	64	64	28	19	28	564
	本学学生	540	444	491	193	63	129	255	795	234	210	29	32	3,415
	学内小計	637	508	574	219	74	158	306	859	298	238	48	60	3,979
	学外	大人(一般)	184	378	942	484	586	348	529	1,111	626	248	260	655
	他大学生	13	8	63	99	13	9	2	27	4	8	8	6	260
	高校生	111	138	116	273	600	170	413	115	114	51	10	185	2,296
	中学生	232	1	16	5	59	0	0	0	1	59	7	2	382
	小学生	12	126	11	17	10	2	13	25	21	34	27	13	311
	幼児	4	8	44	7	7	3	5	2	0	5	0	7	92
	学外小計	556	659	1,192	885	1,275	532	962	1,280	766	405	312	868	9,692
海外居住者		12	29	90	253	201	1	31	36	6	187	108	23	977
男女比	男性	232	373	310	248	547	227	208	588	252	187	199	122	3,493
	女性	244	228	300	381	433	249	304	801	303	195	155	124	3,717
	不明	717	566	1,156	475	369	214	756	750	509	261	6	682	6,461
	合計	1,193	1,167	1,766	1,104	1,349	690	1,268	2,139	1,064	643	360	928	13,671

月別来館者数 (単位：人)



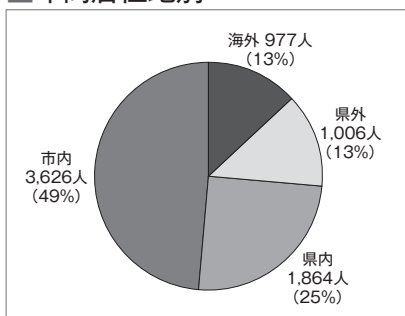
月別開館日数 (単位：日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27	26	26	28	27	26	26	27	23	26	24	27	313

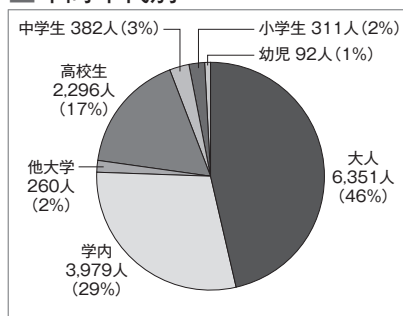
月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
44.2	44.9	67.9	39.4	50	26.5	48.8	79.2	46.3	24.8	15	34.4	43.5

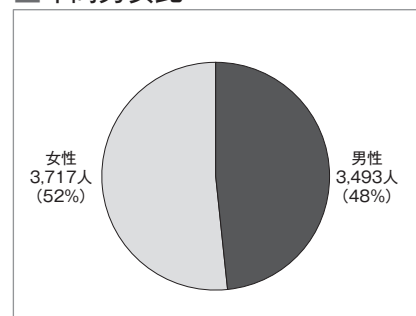
年間居住地別



年間年代別



年間男女比



特別展期間中来館者動向

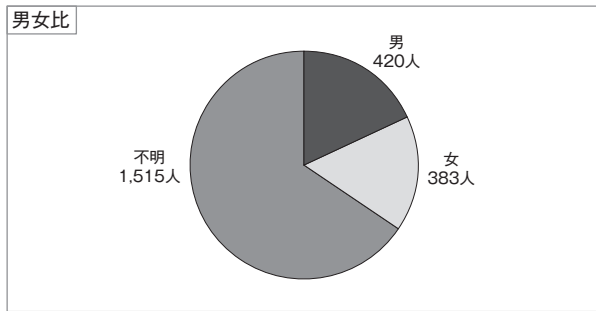
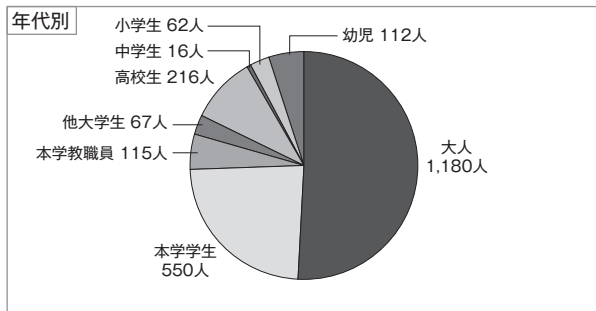
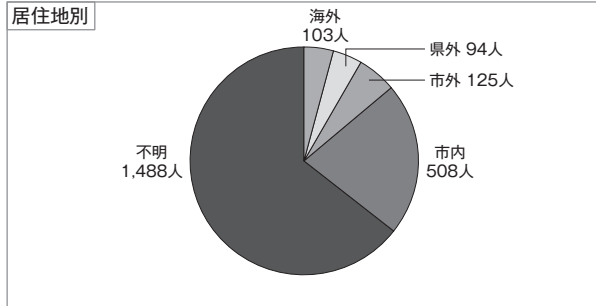
■第6回特別展

『南蛮の鼓動 ―大分に残るキリシタン文化―』

5月27日(木)～7月3日(土)

総来館者数 2,318人

開催日数 34日



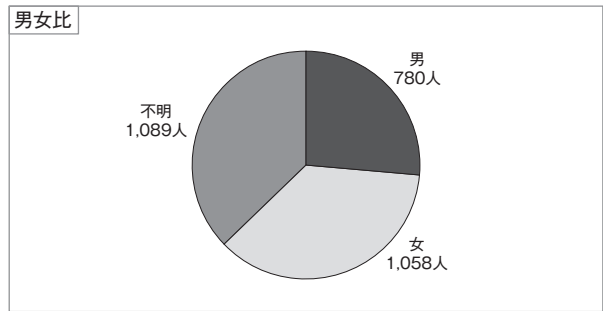
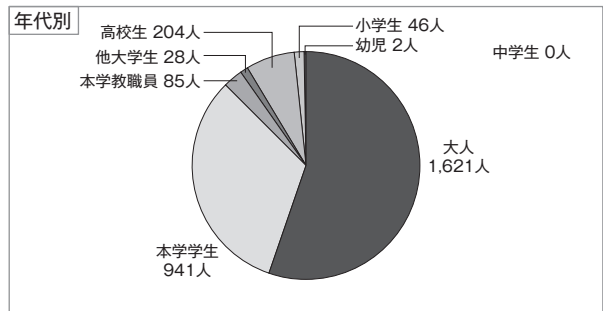
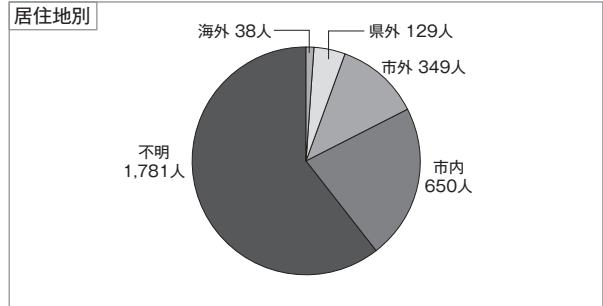
■第7回特別展

『海を渡ったキリスト教 ―東西信仰の諸相―』

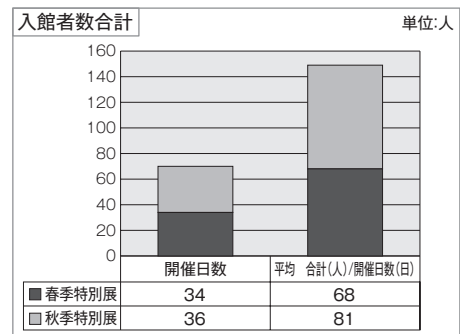
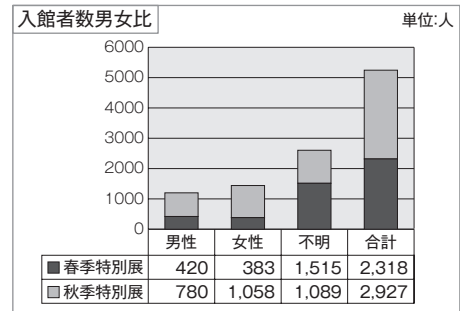
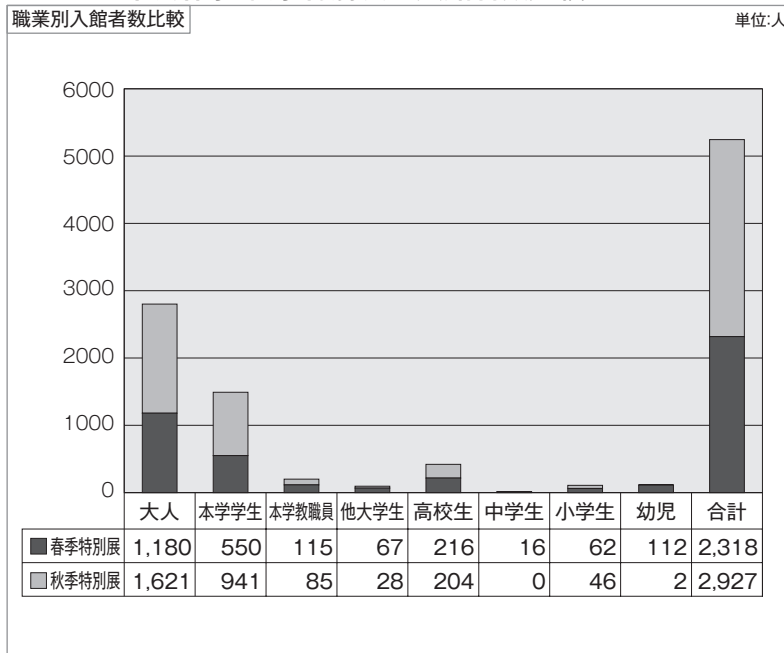
11月2日(火)～12月11日(土)

総来館者数 2,947人

開催日数 36日

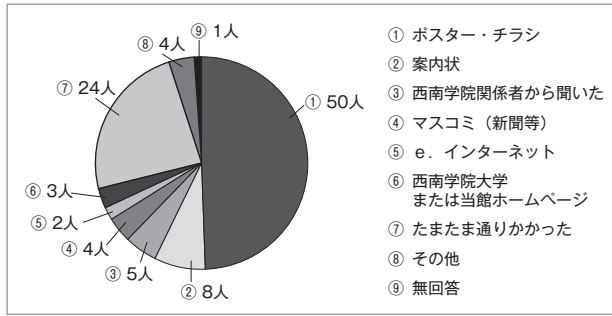


■2010年度春季・秋季特別展 入館者数比較

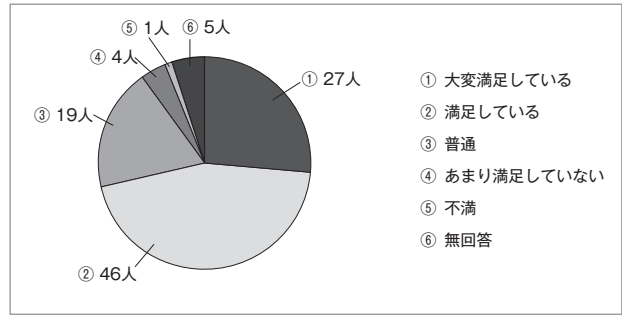


2010年度春季特別展 『南蛮の鼓動 一大分に残るキリシタン文化』アンケート集計

1. 本日の特別展をどのように知りましたか。(複数回答可)



2. 特別展の内容についてお答えください。



3. アンケート

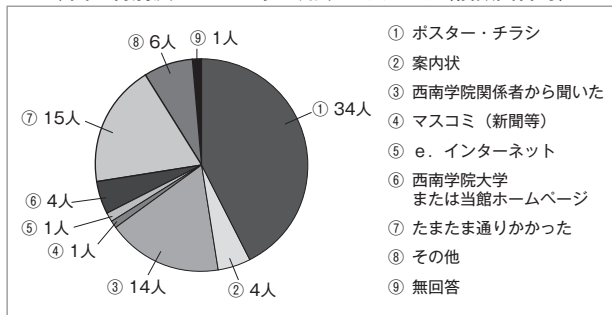
年齢	性別	職業	意見・感想	興味を持った資料	今後希望する特別展のテーマ
53	男	勤労者	歴史的展示物。		プロテスタントに関するもの。
59	女	その他	映画で聖書を学べ、イスラエルの美しい景色と聖書の記事の地が見られて幸せです。	キリシタン御札、踏絵。	
60	男	—			
70	男	その他	アジアの地図の変化がわかった。特に日本のかたち。	地図、宗麟の筆跡。	日本人がキリスト教を受け入れる時点の事物や人の姿。
24	女	その他	地図と絵画を見ることができた。	祈りを数える石。	クリスチャン作家の展示など。
68	女	その他			
23	男	本学学生		オルテリウス、メルカトルなどの世界地図類。	
21	男	その他		地図。	古代もの。
23	女	本学学生	聖フランシスコザビエルの像における解説がとても分かりやすかったです。メダイやコンタなどの小さな装飾品の数々が美しかったです。照明をととも工夫されている感じがしました。	府内古図：豊後府内の変化の様子が見ることができたこと。南蛮鐘の図柄の美しさが印象的でした。	長崎五島列島地区の教会建造物群写真による展示を希望します。
28	男	勤労者			
—	女	その他		常設の聖書。	
49	女	学生	教科書でしか見たことのないザビエルの絵、天正遣欧使節の新聞記事などが見れて内容まで深く知ることが出来た。	アジアの地図、JAPANではなくIAJANだったことや地名が面白かった。	
40	男	勤労者	大友宗麟のこと、キリシタンのこと、地図が面白かった。		
55	男	勤労者	今まで知らなかった内容なので。地図が複数あり、比較して見られた。	メダイ、コンタをどのように使っていたのか。刀のつばはなかなかおしゃれですね。	
75	女	その他	映像による説明。	魔境。	
54	男	その他	ヴォーリスの建築が見れた。	聖書の数々。	これらの継続。
26	男	学生	ザビエル像(複製)や日本におけるキリスト教の始まりは興味深かった。		
46	女	その他		フランシスコ・ザビエル像。	キリスト教に関連する展示・企画など。
58	男	勤労者		博物館そのものが興味深かった。	
35	男	勤労者	大友宗麟、西南大学の創立など。		講堂の趣が深かったです。
50	男	勤労者			
33	男	その他	紀元前後の展示と合わせて見られたのがよかったと思います。	ザビエル画。	当時のキリスト者の生活・食文化など。
19	男	本学学生	ザビエルの肖像画の説明が見れたこと。病院の模型。		
60	女	その他	西南創立時の様子が分かりました。大友家とキリスト教の関係が少し分かりました。	地図。	
64	男	本学教職員	出土品の現状写真等。	フランシスコ・ザビエル像の説明。	
50	女	その他	昔からの品が展示してあり、コンタの由来など感じ入るものが!!コンタツをくるといふロザリオの祈りを昔の方々が言っておられたのを思い出しました。	コンタ。	
52	男	本学教職員	九州の大分でのキリシタン文化がよく分かった。	南蛮図屏風。	九州各地のキリシタン文化(大村、有馬とか)。
50	女	その他		以前からコンタツという言葉に耳にしていたので見れてよかった。	
62	女	その他	よく理解できた。		
21	女	学生	日本の屏風などはみる機会が多いのですが、南蛮文化という西洋と日本の文化の融合を見る機会がなかなかないので。	南蛮かぶと。文化のみならず、武器にまで西洋の文化の影響が示されるもので、とても興味深かったです。	どんなものでも。西洋や東洋の文化財をもっと見てみたいです。
45	男	勤労者	キリスト教の博物館は初めてでした。	書の複製。	
43	男	勤労者			
42	女	勤労者	施設が立派でした。		
49	女	その他			
21	女	学生	当時のキリシタンの身近な品が見ていておもしろかった。	メダイ。小さなメダイを持ち歩くことで信仰を確かめるといふのがいいなと思った。	キリシタンがおもしろいので昔の日本とキリスト教のかかわりをもっと知りたい。
21	女	学生	刀の鐔などにもキリスト教関係(南蛮用)のものがあるなどが知れたこと。	刀の鐔、メダイ。	今回のような日本のものと西洋のものが混ざった作品を他にも見たいと思います。
20	女	学生	光の演出。	メダイ。	
14	女	その他	福音書がすごい印象に残りました。	パイプオルガン、福音書、縦笛みたいなもの。	これだけあれば幸せです。
39	男	その他			
45	男	勤労者	昔のおもかけを残してうまく展示されていた。		
53	男	自営業	ヘブライ語の直訳が欲しかった。	新旧の宗教に入らなかった外典を展示してほしい。	聖書外典展 コタの福音書やマグダラのマリアの福音書。
50	男	勤労者	視覚から時代を把握できた。		大友氏関連のもの、貴学院創立者関連のもの。

年齢	性別	職業	意見・感想	興味を持った資料	今後希望する特別展のテーマ
61	男	勤労者	資料展示品のレベルが高い。	角笛。	西南学院の人の歴史をもっと知りたい。
66	男	その他	貴重な資料がそろっている。	最後の晚餐。当時は横になって食事をしてたとのこと、初めて知りました。	
67	男	その他		古地図。	
74	女	その他	分かりやすい展示。	聖書。特に時代ごとの活字の変遷。	
21	女	本学学生	現在、キリスト教の宣教師および布教について、論文を書く予定なので、全体的によかったと思います。	魔鏡や福岡藩の踏絵の図など。	九州内のほかのキリスト教のことも知れる機会があれば、と思います。
18	女	本学学生	南蛮というあまり詳しく知らなかった頃の日本について知れたこと。	指輪。	西洋のもの。
18	女	本学学生	宗教についてなど、いろいろ考えさせられたところ。	指輪やコンタなど、昔の人が実際に使っていたもの。あと、フランシスコザビエル像。	西南の街の歴史。
62	男	その他		魔鏡。	
—	女	—	古い文献が大変美しかったです。		
61	女	その他	当時の品が展示してあり、現実感があつた。	食器、お皿が面白かった。	
29	男	勤労者	興味深い展示が多かった。		
54	男	勤労者	レプリカとはいえ、「物」をポイントにわかりやすく展示してあるので。	常設展も見事!	
18	女	本学学生	府内についてよく分かった。	ザビエルの肖像画。	
50	男	勤労者			
50	男	勤労者	歴史の重み、奥深さの一端をわずかであるが感じることができた。	The Last Supperの中国様式、C.K.ドージャー先生のコーナー。	キリスト教の一年が体験できるようなもの。春は〇〇、夏は〇〇等。
50	男	勤労者		新約聖書ビデオ。	
46	女	勤労者			
51	女	自営業	ヘブライ語の本。建物が美しい。		
60	女	その他	1500年代のアジア図を見たこと。	コンタが美しい。	
73	男	その他	魔鏡の展示。	聖書など大型本の装飾。	
43	男	勤労者	主要な資料がレプリカである。		
7	女	本学学生	ザビエルのことについておもしろかったです。		ドージャー先生のことです。
25	男	勤労者	踏絵・メノラーといった実物を見ることができた。	魔鏡、踏絵、最後の晚餐。	
35	男	勤労者			戦国期の南蛮貿易（日本人奴隷の輸出も含む）。
58	男	その他	キリスト教のことは、知らないことばかりで新鮮。	日本のキリシタン関係。	
19	女	本学学生	展示品が少ない。暗くて壁の絵が見にくかった。	かぶと。	地元に密着したものがいいです!
70	男	その他			
27	男	学生			
35	男	勤労者			
61	男	その他			
43	男	勤労者	ザビエルの絵を子どもたちが喜んでいました。複製が多かった点は残念。	キセル。	
77	男	—	各聖書、死海文書などが多くが展示されていたこと。	死海文書、ヴァチカン写本。	
60	男	その他		古地図、魔鏡。	
60	男	自営業	大友宗麟をクローズアップしている視点。		
63	男	その他			
18	女	本学学生	受験時に勉強したのや知らないものを見ることができた点。	鎧。形としては知っているものを改めて近くで見ると細かい絵が描かれていて新鮮だった。	
19	女	本学学生	とてもきれいで落ち着きました。	講堂がすばらしかった。	講堂で授業を聞いてみたいです。
21	女	本学学生	配置、種類の豊富さ。	踏絵。	日本、オランダやスペイン、ポルトガルのキリスト教と楽器、衣服のつながり。
18	女	本学学生			
68	男	その他			
55	男	勤労者	マジックミラーの実像。	踏絵、メシヤ碑文(2階講堂)。	
65	女	その他			
65	男	その他		①大友の書状 ②キリスト禁止の定め。	
70	女	その他			
56	女	その他		地図。	福岡地元のキリシタンの歴史。
62	男	勤労者		当時の地図。	明治以降のキリスト教の歴史。
53	男	勤労者	五野井先生のレクチャーがわかりやすかった。		
68	男	その他	展示資料が少ないと感じた。	病院全景…どんな人たちがどんな生活をしてたのだろう。	九州のキリシタン大名(特に黒田如水)。
70	男	その他	古図の展示。	南蛮かぶと。	キリシタン時代の音楽、楽器・グレゴリア聖歌の楽譜など。
65	男	その他	大分に残るキリシタン文化がわかった。	地図資料。	大変ですがこれからも継続して特別展をお願いします。
40	男	その他		府内医院の復元模型。	16世紀の九州での布教(長崎・大村関連)。
47	女	学生			
63	男	その他	めずらしい資料を見ることができた。		
49	男	勤労者	説明文がわかりやすい。		大分以外の地のキリシタン文化。
44	女	勤労者	ザビエル画の解説が興味深かった。	ザビエル画。	キリスト教の影響を受けた日本文化など。
36	男	勤労者	大友宗麟に興味があつたため、しかし長崎に比べて大分はキリスト教の影響があまり感じられない。	ドージャー記念室。とても良かった。	今のところありません。
35	女	勤労者			
—	女	本学教職員	色々な分野の資料が見られた。	ロザリオ、メダイ、実際に庶民が身に付けていたもの、どのように信仰を守っていたか実感できるものに興味があります。	左に同じ。
40	男	その他	はは様宛書状。	2階展示の交易品。	

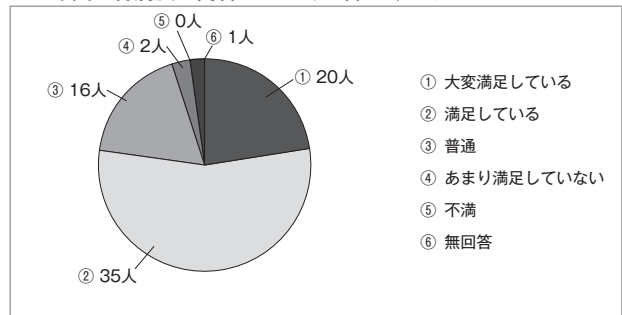
※—は無回答を示している。

2010年度秋季特別展 『海を渡ったキリスト教—東西信仰の諸相—』アンケート集計

1. 今回の特別展をどのように知りましたか。(複数回答可)



2. 今回の特別展の内容についてお答えください。



3. アンケート

年齢	性別	職業	意見・感想	興味を持った資料	今後の特別展のテーマ
20	女	本学学生			
19	女	本学学生			
19	女	本学学生	キリスト教がカッコいいと思った。		
23	男	学生	キリスト教のことがわかりやすく説明してある。	学院関係資料。	九州・山口エリアのキリスト教の歴史。
38	男	勤労者	キリスト教の伝来と弾圧、復活の一連の歴史がコンパクトにまとまっていてとてもよくわかりました。	死海文書の内容が和訳などの形で展示されるとうれしい。	
46	—	その他		ポルトガル船の模型。	キリスト教に関する展示。
41	男	その他			
19	女	本学学生		宗門改帳の壇那寺が夫婦で違うところが気になり、そのページが見えなかったです。	
20	女	本学学生	授業で聞いたものが実際に見れてよかったです。		
20	男	本学学生	魔境など実際にライトをあてて見れてよかった。		
20	女	本学学生	前回博物館に来たときには見られなかったものがたくさん見られたところ。		
22	女	学生	部屋が暗かったので少し見にくかったです。でも、資料がたくさんあり、勉強になりました。	地球全図です。現在見るものとは、少し違いますが、当時でもこんなに世界に目が向けられていたのだなと感じました。	
20	女	本学学生			
20	女	本学学生			
59	女	勤労者	中国の景教の中からキリスト教に通じているつぼがあることが興味深かった。陰の中でキリスト教を守ろうとしたことが興味深い。	マリア観音像、こんびるまさんのさがらめんとの事。	
20	女	学生		クリシタン禁制定書。	世界の伝統おもちゃ展など。
19	女	本学学生		トラーの模型と指示棒、ケンコット聖書。	スペインに関係するような特別展を希望します。
18	女	本学学生		踏絵、魔鏡。	宗教画。
20	女	本学学生	資料がたくさんあって、見やすかったです。	宗門改帳。	
18	女	本学学生	雰囲気すごくよかったです。	踏絵の様子など授業で習ったものが見れてよかったです。	
21	女	本学学生	キリスト教が禁教となるきっかけとなったバテレン追放令の本物の証書や、キリスト教御札など普段見られないものが見れたこと。	森仁左衛門作の望遠鏡・・・舶来品をここまでみごとに作ってしまうところがスゴイ！ 琉球の宗門改木札・・・琉球でも徹底されていたことがスゴイ。	
20	女	本学学生		宗門改木札。	
21	女	本学学生	キャプションがとてつもないで、今日もわかりやすいなど思いながら見せていただきました。	メダイ。	初期キリスト教に関する展示。
60	女	勤労者	ビデオで聖書に書かれていたイエスの伝道の足跡が実感できた。		
70	男	その他	古地図や絵画類の展示。	現存するクリシタン遺物。教書類が残されていたとは。禁教時代どのように教えが伝わったか知られて良いと思う。	筑前におけるクリシタン(大名としての黒田家や家臣、そして庶民の生活等)資料展示。
37	男	その他		ヴォーリスの図画、写真、復原のプロセス。	ヴォーリスの建築(西南学院とのかかり)。
39	男	勤労者	当時の雰囲気を感じられた。	展示ケースの照明方法が上手く設置されていた。	
38	女	その他	VTR,展示の充実。	ラピス、石文。	
78	男	その他	珍しいもの、聞いたり読んだりしていたものの実物など。	今日は時間が足りませんでしたので、又後日まいります。	
51	男	勤労者		十五玄義。	
18	女	勤労者	雰囲気と、展示されているものが興味深かった。		ヨーロッパ辺りのもの。
60	男	その他			
8	女	学生		パイプオルガン。	グリーンティーカードづくり。
31	男	勤労者	日常生活ではなかなか見られないものが歴史を感じさせる建物の中に鎮座している点。	魔鏡の実物を見たのは初めてなので、興味深かったです。	
63	—	勤労者	50数年前のチャペルを見てなつかしかった。		
—	女	その他	地元に住みながら知らないことだらけだった。		
32	女	勤労者	時代の流れを感じる事ができた。	講堂、ドージャー記念館。	西南の歴史。

年齢	性別	職業	意見・感想	興味を持った資料	今後の特別展のテーマ
79	男	その他	遺品他に2階で古文書の展示されているのに特に興味を持った。	古文書の現代訳をつけていただけるとよかったです。なかなか読みにくい。1960年に廃品の中からみつけたとある。信じがたい事実ですね。	
38	女	勤労者	展示物がたのしかった。		
39	女	勤労者		魔鏡。	
46	女	自営業			
45	女	勤労者			
19	女	本学学生		古地図。	キリスト教のことを全く知らない人が一からキリスト教がわかるものが多いです。
21	女	勤労者			
54	女	勤労者	より深くキリスト教の歴史、キリストの生き方を知りよかったです。	聖書。	日本とキリスト教のつながりがわかりやすく説明してほしい。
65	男	その他	充実した資料、特に聖書の写本に信教の厚みを感じました。	聖書の写本、ガイドランスは行ったことがない場所が見られて楽しかった。	
28	女	その他			
49	女	自営業	キリスト教に関する資料を初めて見たので刺激的でした。悪いところは思い当たりません。	聖書の写本。	やはりキリスト教に特化したもの。
33	男	勤労者	ビデオ上映がうるさい。	生月の御掛絵。	
79	男	本学教職員	素晴らしい資料を見せてもらった。		
65	男	その他	貴重な資料等見ることが出来た。		
62	男	自営業	資料の数が少ないのはやむをえないでしょうね。説明文をもっと増やしてもよいのでは？静か、明かりがおさえられているのも好感。ビデオがややうるさいと思います。		
74	男	その他	珍しいものが多かった。	地図、絵図(踏み絵など)。	福岡藩とキリスト教の関係。
	男	勤労者		ドージャー氏の資料、黒田藩の踏み絵。	
72	女	その他	丁寧に解説されていました。又チャベルからのオルガンを聞きながら気持ちも落ち着きました。	聖書の中に出てくる品々(からし種の小ささ)を教えてください。	かくれキリシタンの時代の物。
55	男	その他	建物自体。	地図、遠眼鏡。	小倉の短大のことが知りたいです(長姉が卒業生)。
66	男	その他	貴重な初めて見る資料があり良かった。	かくれキリシタン資料、日本化された絵像に200年の禁教の長さを感じた。	長崎県の西彼 半島、五島列島のかくれキリシタンの情況、教会群の成立について。
46	女	その他	映像、キリシタンの鏡。		
46	男	勤労者	東大博蔵の救世主像が見れたため。		聖母子メダイ。
61	女	その他			
24	女	本学学生	とても分かりやすい展示で興味深かった。	絵画や札など。	
43	男	その他	歴史の流れが貴重な資料によりわかりやすい。	1階で聞こえていたパイオルガンが録音テープだと思っていたら、2階で本当に弾いていたので感激した。	ドージャー氏や同時代の宣教師について。
50	男	その他	展示物の希少な価値と丁寧なる説明。フィリピン、ルーマニアなどの信仰形態に触れえたこと。	聖母十五玄儀、聖フランシスコ肖像。	聖書週間の終わりにこの場に抱かれたことに神に感謝。
47	男	その他	キリスト。	建物。	これから、未来。
73	男	その他	照明不備。細かいものは拡大鏡。	お掛け絵「天使に囲まれた聖母子」の説明文下から3行目 天子→天使。	
64	男	その他	隠れキリシタンのことは知っていたが、その人々書物などを目にできたこと。		
17	女	学生	学校で習ったり、資料をみて認識するものとはまた違った世界を知ることができた。	当時の日本人が描いた絵がきになりました。	明治以降のキリスト教について。
17	女	学生	色々な資料が見れて良かったです。	ポルトガル船、ザビエル像、踏絵の資料。	最近ちょうど南蛮貿易などのことを授業で習ったので、実際に色々な資料が見れて良かったです。
56	男	その他	日本でキリスト教を守っていた人たちの様々な資料が展示されていたこと。それらが写本されていたり、転写されていたりなど、信仰を伝承しようとしたこと。	イコン ガラス製というのが気に入りました。	キリスト教に関わる展示が中心となるでしょうが、異文化との出会いはこれからも重要なテーマだと思います。頑張ってください。
16	女	学生	展示資料を通してキリスト教の誕生から発展までを分かりやすく学ぶことができた。ドージャー先生の愛用していた賛美歌と聖書が見れたのも良かった。	どの展示資料も興味深かったが、一番心に残っているのは、魔鏡だった。	この特別展にきてよかったです。
16	女	学生	フランシスコ・ザビエルなど教科書でしか見たことがありませんでしたが、今日は詳しい説明を交えながら見学できた。	日本でもキリスト教の絵などが描かれていておもしろかったです。踏絵など細かいところまで見れておもしろかったです。	西南らしくキリスト教が関わることについての特別展は興味があります。
61	女	その他	聖書の原本の姿など。	鎖国時のキリスト教。	
53	女	その他		踏絵に衝撃を受けました。	マリアについて。
43	女	勤労者	キリスト教の歴史と日本史、写本等、又、ドージャー氏について知ることができた点。特に魔鏡におどろいた。ドアをしめてみて暗くしたら、懺悔したくなりました。	上記の「魔鏡」。江戸時代の世界地図と平戸の展示物。	母が西南女学院中高で、百道浜のこの博物館がみえるマンションを熱望して住んでいます。西南女学院の特集も是非お願いします。中に入ったのは初めてでした。

※一は無回答を示している。

来館団体一覽

期 日	見学時間	団 体 名	人数
4月 2日(金)	12:45~13:00	新任教職員オリエンテーション	54名
4月 5日(月)	10:00~12:00	神学部始業礼拝	95名
4月 9日(金)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
4月12日(月)	9:00~10:30	西南学院中学校新入生 オリエンテーション	230名
	11:00~12:10	神学部チャペル	43名
4月15日(木)	14:40~16:10	神学部小林洋一教授 「旧約概論A」講義	18名
	13:30~15:00	国際文化学部伊芝恵准教授 「専門演習IA」講義	18名
4月16日(金)	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	12名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	8名
4月19日(月)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
	11:00~12:10	神学部チャペル	35名
4月22日(木)	14:40~16:10	商学部伊藤龍峰教授「演習I」講義	13名
	12:30~14:30	事務局新任職員研修	5名
4月23日(金)	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	11名
4月26日(月)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	11名
	9:00~10:30	全学部「西南学院史」講義	137名
	11:00~12:10	神学部チャペル	42名
4月30日(金)	13:00~14:30	商学部西田顕生順教授 「基礎演習I / 演習I」講義	22名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
5月 6日(木)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	2名
	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	11名
5月 7日(金)	15:15~15:45	福岡市早良区区长・区役所職員	5名
	10:00~10:30	国際文化学部宮平望教授 「キリスト教学I」授業	50名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
5月10日(月)	14:00~14:30	私立東筑紫学園高校	39名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
5月11日(火)	11:00~12:10	神学部チャペル	43名
	15:40~16:30	なまづ会(西南中 s 27卒業生)	19名
5月12日(水)	15:10~16:40	国際文化学部宮崎克則教授 「日本近代史」講義	42名
	9:30~10:30	国際文化学部宮平望教授 「キリスト教学I」授業	61名
	11:50~12:50	西南学院小学校	37名
	13:00~14:00	西南学院小学校	38名
5月13日(木)	13:30~14:00	筑紫野二日市キリスト教会	10名
	13:30~15:00	国際文化学部宮平望教授 「専門演習IA」講義	30名
5月17日(月)	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	12名
5月20日(木)	11:00~12:10	神学部チャペル	45名
5月21日(金)	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	8名
5月24日(月)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
5月27日(木)	11:00~12:10	神学部チャペル	56名
5月28日(金)	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	11名
	10:30過ぎ	西南小学校2年生	53名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	10名
	14:30~15:00	中村三陽高校PTA	23名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
5月31日(月)	15:00~15:50	講倫館高校生徒	100名
6月 3日(木)	11:00~12:10	神学部チャペル	63名
	12:10~12:40	国際文化学部宮崎克則教授 「文化基礎論a」講義	31名
	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	10名
6月 4日(金)	15:30~16:00	経済学部島田竜登教授「演習II」	8名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
6月 7日(月)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
	10:40~12:10	神学部チャペル	34名
6月 8日(火)	10:00~11:00	香港教育者団体	40名
	11:00~11:15	西南学院小学校2年生「花の日」	9名
6月 9日(水)	10:00~11:00	国際文化学部今井尚生教授 「キリスト教学I」講義	54名
	9:00~10:30	経済学部村岡伸秋教授 「基礎演習II」講義	20名
6月10日(木)	13:30~15:00	国際文化学部今井尚生教授 「キリスト教学I」講義	47名
	11:10~12:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	11名

期 日	見学時間	団 体 名	人数
6月11日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
6月14日(月)	10:30~11:00	西南幼稚園	47名
	10:40~12:10	神学部チャペル	33名
6月16日(水)	13:00~13:40	釜山高神大学	24名
	15:30~16:00	福岡県立筑前高等学校	93名
6月17日(木)	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	12名
	16:00~16:30	佐伯鶴城高校保護者と教員	9名
6月18日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム/ 演奏会リハーサル	30名
6月19日(土)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム/演奏会	30名
6月20日(日)	13:00~18:30	福岡バツハコレギウム/演奏会	341名
6月22日(火)	12:30~13:00	香ヶ丘キリスト福音教会	10名
6月23日(水)	14:00~14:10	児童教育学科 古田先生ゼミ 卒業アルバム撮影	12名
6月24日(木)	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	10名
	14:00~15:30	雙葉学園中学校	13名
6月25日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	12:30~13:00	北海道北星学園	4名
	14:00~14:30	スクールアメニティ研修会	30名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
6月26日(土)	14:00~16:30	第7回特別展公開講演会	101名
6月28日(月)	10:40~12:10	神学部ロングチャペル	53名
	13:30~14:30	ウナム中央協会	13名
6月29日(火)	12:30~13:00	県立糸島高校	20名
	16:00~16:30	アイハウス	24名
6月30日(水)	12:30~12:45	文教大学	6名
	14:00~14:30	別府鶴見丘高校	70名
7月 1日(木)	15:10~16:40	神学部「キリスト教音楽A」講義	9名
	15:20~16:00	田隅バプテスト教会	8名
7月 2日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	8名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	6名
7月 5日(月)	13:00~13:40	玄海高校	104名
	11:00~11:30	韓国CCC	19名
	12:00~12:30	西陵高校	70名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	11:30~11:45	県立須恵高校	39名
7月 8日(木)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
	11:00~14:00	CCS結婚式	50名
7月10日(土)	10:40~12:10	神学部チャペル	32名
7月12日(月)	15:00~15:15	Clebraty ministry of Art	3名
7月14日(水)	14:30~15:00	福岡講館高校PTA	34名
7月15日(木)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	13名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
7月16日(金)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	6名
	10:40~12:10	神学部チャペル	18名
7月19日(月)	13:30~13:50	久留米信愛女学院高校	36名
	15:20~15:50	韓国ソフン教会	15名
7月21日(水)	10:00~11:00	佐賀大学総務課	4名
	16:00~17:00	韓国全州栄光教会	39名
7月27日(火)	—	韓国からの団体(5組)	79名
7月29日(木)	10:00~17:00	オープンキャンパス	74名
8月 3日(火)	15:30~16:30	シニアデジカメサロン	6名
8月 4日(水)	10:00~12:30	糸島高校見学	320名
8月 6日(金)	13:00~13:30	韓国からの団体	40名
8月 7日(土)	10:00~21:00	ウィーンフェスティバル/ リハーサル・ミニコンサート	45名
	13:30~14:00	祐誠高校	135名
8月 8日(日)	14:50~15:00	長崎南山高校	60名
	8:45~18:00	ウィーンフェスティバル	268名
8月18日(水)	11:00~11:30	韓国プールン教会	32名
8月19日(木)	11:30~16:30	Korea Ulsan simin church	25名
8月25日(水)	13:00~13:30	留学生別科	38名
9月 3日(金)	14:30~14:45	福岡魁誠高校	52名
9月 9日(木)	10:00~18:00	西南学院ESSギャロット杯 リハーサル	7名

期 日	見学時間	団 体 名	人数
9月 9日(木)	—	私立大学図書館協会	66名
9月10日(金)	—	私立大学図書館協会	64名
9月15日(水)	14:00~15:00	西南学院ESSギャロット杯 リハーサル	7名
9月18日(土)	15:00~17:00	寺園院長リコーダー演奏 リハーサル	9名
9月22日(水)	14:00~14:30	神埼高校	120名
9月24日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	6名
9月25日(土)	13:00~18:00	西南学院ESSギャロット杯 リハーサル	7名
9月27日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	31名
	16:00~16:30	レクリエーション研究OB	5名
9月29日(水)	9:00~10:30	児童教育学科「教職総合演習」	20名
	14:30~15:30	朝倉高校PTA	61名
9月30日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	11名
10月 1日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽A」講義	4名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	6名
10月 2日(土)	13:00~18:00	西南学院ESSギャロット杯 リハーサル	8名
10月 4日(月)	10:30~12:10	神学部チャペル	26名
10月 6日(水)	15:00~15:30	明善高校PTA	27名
10月 7日(木)	14:00~14:30	嘉徳東高校	80名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	8名
10月 8日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
	11:00~11:30	大分県防府高校父兄	60名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
10月 9日(土)	13:00~18:00	西南学院ESSギャロット杯 リハーサル	5名
10月14日(木)	12:00~12:30	嘉徳高校	40名
	12:30~13:00	福島高校PTA	35名
	14:40~14:50	門司大翔館高校	40名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	8名
10月15日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	11:15~11:45	唐津東高校PTA	32名
	14:10~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
10月16日(土)	11:00~15:00	キャンパスサポート西南結婚式	80名
10月20日(水)	9:30~10:30	小郡高校PTA	40名
	11:00~11:15	武蔵台高校	130名
10月21日(木)	13:30~13:45	若松高校	28名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	10名
10月23日(土)	10:00~10:30	韓国の大学	20名
10月28日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	10名
	15:30~15:45	白杵高校	60名
10月29日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	11:00~11:15	宮崎大宮高校父兄	14名
	14:10~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
11月 2日(火)	11:00~11:30	八幡南高校1年生	80名
	16:15~16:45	国際文化学部「近代社会論」講義	35名
11月 4日(木)	9:00~10:30	国際文化学部「キリスト教学Ⅱ」講義	32名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	9名
11月 5日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	13:00~14:30	国際文化学部「古文書学」講義	31名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	6名
11月 6日(土)	9:00~17:00	Eまち歩きスタンプラリー	61名
	14:00~16:30	第8回秋季特別展開覧公開講演会	70名
11月 7日(日)	9:00~17:00	Eまち歩きスタンプラリー	104名
11月 8日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	28名
	10:00~10:30	「日本史4」講義	31名
11月 9日(火)	15:40~16:00	人間科学部 「ソーシャルワーク演習Ⅲ」講義	4名
11月10日(水)	9:00~10:30	法学部「キリスト教学」講義	47名
	11:10~12:40	人間科学部「キリスト教学」講義	50名
11月11日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	7名
11月13日(土)	9:30~12:00	博物館主催 第2回子どもワークショップ	14名
	12:15~13:15	福岡住環境を守る会	20名
	13:30~13:45	私立大学関係者見学	5名
11月17日(水)	9:00~10:30	宮平望教授「キリスト教学Ⅱ」講義	41名
	11:00~11:30	門司学園高校PTA	76名
	12:00~12:30	浮羽実証館高校PTA	53名

期 日	見学時間	団 体 名	人数
11月18日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	9名
	17:00~17:40	「博物館資料論」講義	30名
11月19日(金)	9:30~10:30	宮平望教授「キリスト教学Ⅱ」講義	31名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
	11:00~11:30	鳥栖高校PTA	10名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
11月20日(土)	10:00~12:00	西南学院大学 レクリエーション研究会	80名
11月21日(日)	9:00~18:00	西南学院ESS ギャロット杯	70名
11月22日(月)	11:00~12:10	神学部チャペル	23名
11月23日(火)	10:30~11:20	韓国慶星大学校	20名
11月24日(水)	11:30~12:00	宮平望教授「アメリカ思想B」	57名
	9:30~10:30	宮平望教授「キリスト教学」講義	42名
11月25日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	10名
	10:40~12:10	青野先生講義	3名
	14:00~14:30	「古文書学」講義	16名
	16:40~17:30	久留米大学	4名
	17:00~17:40	図書館研修	12名
11月29日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	36名
12月 2日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	9名
	9:00~10:30	古田先生授業	80名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
12月 3日(金)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
	16:00~21:00	バツハコレギウム 楽器搬入および練習	30名
12月 4日(土)	18:00~21:00	バツハコレギウム練習	30名
12月 5日(日)	16:00~18:30	バツハコレギウム	180名
12月 6日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	28名
12月 9日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	7名
	15:10~16:00	糸島高校2年生	87名
12月10日(金)	17:00~20:30	西南ブリエール	28名
12月11日(土)	10:00~12:00	博物館主催 第3回子どもワークショップ	41名
	12:00~16:00	西南ブリエール	120名
	17:30~18:00	行政管理学会	15名
12月13日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	27名
	14:30~14:45	大川樟風高校	27名
12月16日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	9名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
12月17日(金)	10:45~11:30	佐賀養護学校	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
12月20日(月)	10:00~10:30	華東師範大学	5名
	10:40~12:10	神学部チャペル	20名
12月23日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	6名
12月24日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	4名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
12月27日(月)	9:00~13:00	キャンパスサポート西南結婚式	45名
1月 6日(木)	13:00~13:30	国際センター	13名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	7名
1月11日(火)	15:30~16:00	九州国立博物館館長様	5名
1月12日(水)	9:00~10:30	古田先生「教職総合演習」	26名
	14:00~14:30	韓国CCC	9名
1月17日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	32名
1月20日(木)	11:00~11:30	韓国sum muel church	29名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	10名
1月24日(月)	14:30~15:00	韓国 活泉教会	20名
1月25日(火)	15:00~15:30	朝倉高校	21名
1月29日(土)	12:30~16:30	キャンパスサポート西南結婚式	85名
2月 5日(土)	10:00~12:00	博物館主催 第5回子どもワークショップ	25名
2月12日(土)	12:20~13:00	つくしの会見学	65名
2月24日(木)	15:00~15:30	韓国からの団体	6名
2月25日(金)	12:00~12:30	大阪女学院	2名
3月 4日(金)	13:45~13:55	西日本短期大学附属高校	88名
3月10日(木)	15:30~16:00	熊本 コウザの歴史を語る会	22名
3月12日(土)	9:00~12:00	博物館主催 第6回子どもワークショップ	15名
3月16日(水)	11:45~12:05	久留米商業高校	102名
3月17日(木)	16:00~17:30	川上先生を偲ぶ会準備	5名
3月26日(土)	10:00~17:00	MI・らん・NEコンサートリハーサル	18名

4. 広報活動

特別展・企画展関連記事

- ・毎日新聞朝刊（2010年6月17日）「特別展 南蛮の鼓動」記事
- ・西日本新聞朝刊（2010年8月19日）「企画展 シーボルト著『日本』」記事
- ・西日本新聞朝刊（2010年10月15日）「せいなんこどもワークショップ」記事
- ・長崎新聞朝刊（2010年11月9日）「特別展 海を渡ったキリスト教」記事
- ・西日本新聞朝刊（2010年11月28日）「特別展 海を渡ったキリスト教」記事
- ・読売新聞かわら版

広告

- ・福岡市営地下鉄「お出かけ案内 今月の沿線イベント」6月のおしらせ「南蛮の鼓動」
- ・SOLARIA PLAZA 広報誌（2010年9月号）会場提供
- ・毎日新聞朝刊（2010年10月20日）「海を渡ったキリスト教」ポスター掲出
- ・福岡市営地下鉄「お出かけ案内 今月の沿線イベント」11月のおしらせ「海を渡ったキリスト教」

関連記事

- ・西日本新聞朝刊（2010年10月30日）「キリシタンの歴史をたどる一朝倉で企画展」（甘木歴史資料館）学芸員講演紹介
- ・長崎新聞朝刊（2010年11月30日）「理想と現実 中 長崎歴文博開館5年の課題」学芸員コメント掲載
- ・長崎新聞朝刊（2010年12月2日）「安高啓明学芸員棚橋賞受賞－日本博物館協会」
- ・毎日新聞朝刊（2010年12月27日）「西南学院大学博物館安高さんに棚橋賞」

資料画像提供

キリシタン魔鏡

- ・近畿大学日本文化研究所編『日本文化の攻と守』（風媒社、2011年）

2010年度 寄贈図書一覧

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館紀要 第7号	玉川大学教育博物館	2010年	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュースSHU No.34	玉川大学教育博物館	2010年	玉川大学教育博物館
東北学院大学博物館	モノが歴史を語りだす！ —東北学院大学博物館常設展解説パンフレット—	東北学院大学博物館	2010年	東北学院大学博物館
東北大学総合学術博物館	東北大学総合学術博物館研究紀要 No.9 (Bulletin of the Tohoku University Museum)	東北大学総合学術博物館	2010年	東北大学総合学術博物館
九州国立博物館	日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念 パリに咲いた古伊万里の華	日本経済新聞社	2009年	九州国立博物館
九州国立博物館	東風西声 第5号 2009 九州国立博物館 紀要	九州国立博物館	2010年	九州国立博物館
明治大学学芸員養成課程	2009年度明治大学学芸員養成課程年報	明治大学学芸員養成課程	2010年	明治大学学芸員養成課程
明治大学学芸員養成課程	2009年度明治大学学芸員養成課程紀要	明治大学学芸員養成課程	2010年	明治大学学芸員養成課程
京都大学大学文書館 研究紀要編集委員会	京都大学大学文書館研究紀要 第8号	京都大学大学文書館	2010年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	『大学紛争関係資料』I～V解説・目録	京都大学大学文書館	2010年	京都大学大学文書館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 No.8 2008	鹿児島大学総合研究博物館	2010年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	news letter NO.25	鹿児島大学総合研究博物館	2010年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	news letter NO.24	鹿児島大学総合研究博物館	2010年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	news letter NO.23	鹿児島大学総合研究博物館	2010年	鹿児島大学総合研究博物館
新潟大学人文学部 考古学研究室	新潟大学考古学研究室調査研究報告10	新潟大学人文学部	2010年	新潟大学人文学部
島根大学ミュージアム	平成21年度 島根大学ミュージアム年報	島根大学ミュージアム	2010年	島根大学ミュージアム
島根大学ミュージアム	島根大学ミュージアム・ニュースレター SHIMADAI MUSE Vol.3	島根大学ミュージアム	2010年	島根大学ミュージアム
島根大学ミュージアム	島根大学旧奥谷宿舎パンフレット(A4版)	島根大学ミュージアム	2010年	島根大学ミュージアム
島根大学ミュージアム	島根大学旧奥谷宿舎パンフレット(三折版)	島根大学ミュージアム	2010年	島根大学ミュージアム
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース No.14	九州大学総合研究博物館	2010年	九州大学総合研究所
京都大学文書館	京都大学文書館だより 第18号	京都大学大学文書館	2010年	京都大学文書館
東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第49号	東京大学史料編纂所	2010年	東京大学史料編纂所
関西学院大学博物館 開設準備室	颯川美術館・関西学院連携協力記念 浪速百景 大阪名所案内	関西学院大学博物館 開設準備室	2010年	関西学院大学博物館 開設準備室
関西大学博物館	関西大学博物館彙報 No.60	関西大学博物館	2010年	関西大学博物館
関西大学博物館	博物館の海外資料～モノでめぐる世界旅行～	関西大学博物館	2010年	関西大学博物館
関西大学博物館	関西大学博物館紀要 第16号	関西大学博物館	2010年	関西大学博物館
熊本大学五高記念館	熊本大学五高記念館館報 第1号	熊本大学五高記念館	2010年	熊本大学五高記念館
松山ちあき	聖堂再生	NPO法人 文化財保存工学研究室	2007年	土田充義
財団法人 徳川記念財団	徳川記念財団会報 第15号	財団法人 徳川記念財団	2010年	財団法人 徳川記念財団
第3回北東北三県共同展 実行委員会	境界に生きた人々～遺物でたどる北東北のあゆみ～ —第3回北東北三県共同展2010—	第3回北東北三県共同展 実行委員会	2010年	第3回北東北三県共同展 実行委員会
神戸大学海事科学研究所 海事博物館専門員会	海事博物館企画展図録	神戸大学海事科学研究所 海事博物館	2010年	神戸大学海事科学研究所 海事博物館
神戸大学海事科学研究所 海事博物館専門員会	海事博物館研究年報	神戸大学海事科学研究所 海事博物館	2011年	神戸大学海事科学研究所 海事博物館
全日本博物館学会事務局	学会ニュース No.93	全日本博物館学会事務局	2011年	全日本博物館学会事務局
東京大学史料編纂所附属	画像史料解析センター通信 第50号	東京大学史料編纂所	2011年	東京大学史料編纂所
徴古館 (財団法人鍋島報効会)	御城下絵図に見る佐賀のまち	徴古館 (財団法人鍋島報効会)	2010年	徴古館
徴古館 (財団法人鍋島報効会)	徴古館館報 第20号	徴古館 (財団法人鍋島報効会)	2010年	徴古館
尚古集成館	海洋国家薩摩～海が育んだ薩摩の文化～	尚古集成館	2010年	尚古集成館
九州国立博物館・ 滋賀県立琵琶湖文化館	湖の国の名宝展	九州国立博物館・ 滋賀県立琵琶湖文化館	2010年	九州国立博物館
九州国立博物館	馬 アジアを駆けた二千年	九州国立博物館	2010年	九州国立博物館
東北福祉大学 芦沢銈介美術工芸館	2009年度 東北福祉大学 芦沢銈介美術工芸館 年報1	東北福祉大学 芦沢銈介美術工芸館	2010年	東北福祉大学 芦沢銈介美術工芸館
桜美林大学 リベラルアーツ学群 浜田弘明(桜美林大学教授)	博物館学資料「鶴田文庫」の整理・保存 及び公開に関する調査・研究 目録編	桜美林大学 リベラルアーツ学群	2010年	桜美林大学 リベラルアーツ学群 浜田弘明(桜美林大学教授)
桜美林大学 リベラルアーツ学群 浜田弘明(桜美林大学教授)	博物館学資料「鶴田文庫」の整理・保存 及び公開に関する調査・研究 解説編	桜美林大学 リベラルアーツ学群	2010年	桜美林大学 リベラルアーツ学群 浜田弘明(桜美林大学教授)
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 館報 第8号	玉川大学教育博物館	2010年	玉川大学教育博物館
株式会社社文化環境研究所	Cultivate	株式会社社文化環境研究所	2010年	株式会社社文化環境研究所

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
株式会社文化環境研究所	文環研レポート第30号	株式会社文化環境研究所	2010年	株式会社文化環境研究所
甘木歴史資料館	温故 第44号	甘木歴史資料館	2006年	甘木歴史資料館
甘木歴史資料館	温故 第45号	甘木歴史資料館	2007年	甘木歴史資料館
甘木歴史資料館	温故 第46号	甘木歴史資料館	2007年	甘木歴史資料館
甘木歴史資料館	温故 第47号	甘木歴史資料館	2008年	甘木歴史資料館
甘木歴史資料館	温故 第48号	甘木歴史資料館	2009年	甘木歴史資料館
八代市立博物館未来の森ミュージアム	開館20年記念 平成22年度秋季特別展覧会 八代の歴史と文化20 八代城主松井家の名宝 ～珠玉の松井文庫コレクション～	八代市立博物館未来の森ミュージアム	2010年	八代市立博物館未来の森ミュージアム
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 第10回特別展・鹿児島県立博物館企画展 植物のピース「ジュスタマ」と暮らす (鹿児島大学総合研究博物館ニュースレター no.26)	鹿児島大学総合研究博物館	2010年	鹿児島大学総合研究博物館
京都大学文書館	京都大学大学文書館だより 第19号	京都大学大学文書館	2010年	京都大学文書館
関西学院大学博物館 開設準備室	関西学院所蔵の絵画Ⅰ 誰もやらないことをやれ！ —現代に受け継がれる吉原治良の精神—	関西学院大学博物館 開設準備室	2010年	関西学院大学博物館 開設準備室
全国かくれキリシタン研究会	全国かくれキリシタン研究会 第22回福岡大会プログラム・研究論文集	全国かくれキリシタン研究会	2010年	全国かくれキリシタン研究会
東北学院大学博物館	2009年度 東北学院大学博物館年報	東北学院大学博物館	2010年	東北学院大学博物館
東屋敷奈々、緒方泉	平成20・21年度 九州産業大学美術館年度報告書	九州産業大学美術館	2010年	九州産業大学美術館
長崎純心大学博物館	純心 博物館だより	長崎純心大学博物館	2010年	長崎純心大学博物館
越中哲也	長崎におけるコミュニケーションの研究	長崎純心大学博物館	2010年	長崎純心大学博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュースSHU No.35	玉川大学教育博物館	2010年	玉川大学教育博物館
財団法人徳川記念財団 東京都江戸東京博物館	企画展 徳川御三卿	財団法人徳川記念財団	2010年	財団法人徳川記念財団
九州国立博物館	Asiage Vol.19	九州国立博物館	2011年	九州国立博物館
島根大学埋蔵文化財 調査研究センター	島根大学埋蔵文化財調査研究報告 第9冊 島根大学構内遺跡第14次調査(橋繩手地区3)	島根大学埋蔵文化財 調査研究センター	2010年	島根大学ミュージアム
徴古館 (財団法人鍋島報効会)	徴古館館報 第21号	徴古館 (財団法人鍋島報効会)	2011年	徴古館
徴古館 (財団法人鍋島報効会)	御城下絵図を読み解く	徴古館 (財団法人鍋島報効会)	2011年	徴古館
徴古館 (財団法人鍋島報効会)	佐賀城下の蒔絵師 芦刈梅吉作品集	徴古館 (財団法人鍋島報効会)	2011年	徴古館
長崎純心大学博物館	長崎学研究	長崎純心大学博物館 長崎学研究所	2011年	長崎純心大学博物館
安高啓明	近世長崎司法制度の研究	思文閣出版社	2010年	安高啓明
安高啓明	新釈犯科帳第一巻 長崎奉行所判例集	長崎文献社	2011年	安高啓明
関西大学博物館	阡陵 Vor.62	関西大学博物館	2011年	関西大学博物館
九州国立博物館	Asiage Vol.20	九州国立博物館	2011年	九州国立博物館
黒沢浩	南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター 研究報告第1冊 学術資料の文化資源化	南山大学人類学博物館	2011年	南山大学人類学博物館
大塚達朗	南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター 研究報告第3冊 保美貝塚の研究	南山大学人類学博物館	2011年	南山大学人類学博物館
黒沢浩・西江清高	南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター 研究報告第4冊 南山大学人類学博物館所蔵考古資料の研究 高蔵遺跡の研究／大須二子山古墳と地域史の研究	南山大学人類学博物館	2011年	南山大学人類学博物館
黒沢浩・森部一	南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター 研究報告第5冊 南山大学人類学博物館所蔵民俗誌資料の研究 タイ北部山地民の現在／ パプアニューギニアの物質文化	南山大学人類学博物館	2011年	南山大学人類学博物館
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館 オープンリサーチセンター2010年度年次報告	南山大学人類学博物館	2011年	南山大学人類学博物館
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター 2010年度年次報告 付編 研究会・シンポジウム資料	南山大学人類学博物館	2011年	南山大学人類学博物館

西南学院大学博物館職員

本学博物館の運営にあたり、下記の組織をおく。

博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

（博物館管理運営委員会）

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 大学事務長
- (4) 博物館事務室責任者
- (5) 博物館専門的職員（学芸員）

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

委員長 高倉 洋彰（博物館長）

委員 片山 隆裕（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部教授）

片山 寛（神学部長 本学神学部教授）

大西 修三（大学事務長）

渡邊 浩之（博物館事務室責任者 事務職員）

安高 啓明（博物館専門的職員（学芸員） 博物館学芸員）

博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

（委員）

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

後藤 新治（学芸員資格をもつ大学教員 本学国際文化学部教授）

山田 順（大学教員 本学国際文化学部准教授）

大西 修三（本部・大学事務職員 本学大学事務長）

石田 美孝（学外の博物館関係者 九州女子高等学校校長）

西 憲一郎（学外の博物館関係者 福岡市博物館館長）

三輪 嘉六（学外の博物館関係者 九州国立博物館館長）

（2011年3月現在）

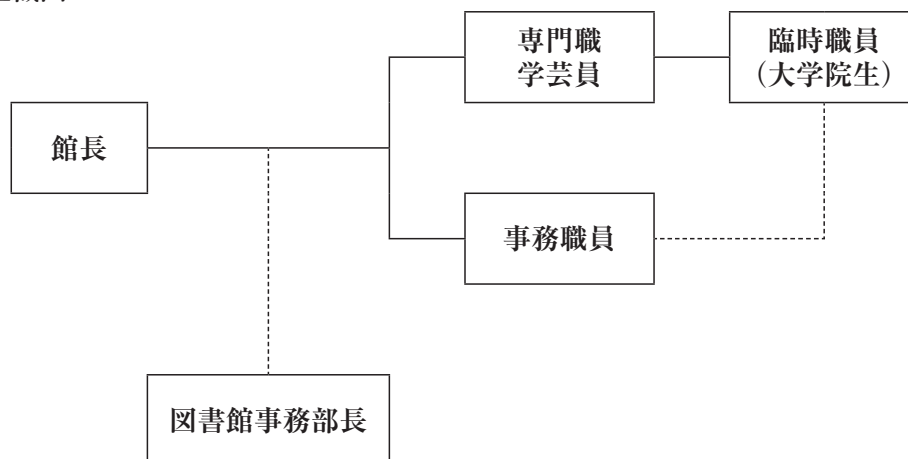
大学博物館

- 館長 高倉 洋彰（兼任、国際文化学部教授）
 専門：日本考古学、博物館学
 主として出土考古資料を通じてみる日本と中国・朝鮮の交流史
- 学芸員 安高 啓明（専任）
 専門：日本近世史、法制史
 江戸幕府司法制度と幕府法、禁教の研究

博物館事務室

- 職員 渡邊 浩之（専任）（2010年4月1日着任）
- 臨時職員 貞清 世里（本学国際文化研究科博士後期課程）
 早瀬 遼子（本学国際文化研究科博士後期課程）
 平川 知佳（本学国際文化研究科研究生）
 中松 沙織（本学国際文化研究科研究生）
 吉村 陽子（本学国際文化研究科研究生）
 城島 久美（本学国際文化研究科博士前期課程）
 阿比留由佳（本学国際文化研究科博士前期課程）
 小林 史奈（本学国際文化研究科博士前期課程）
 中尾 祐太（本学国際文化研究科博士前期課程）

大学博物館組織図



(2011年3月現在)

西南学院大学博物館年報 第3号

2010

発行日 2011年8月31日

編集発行 西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003

 西南学院大学